

# 統計研究参考資料

No. 40

インストローと女性に関する統計

INSTRAW, articles about Statistics on Women  
from *INSTRAW NEWS* and List of INSTRAW Publications

1993年9月

法政大学

日本統計研究所

Japan Statistics Research Institute  
Hosei University

## まえがき

本冊子は、国際連合国際婦人問題訓練調査研究所（United Nations International Resrearch and Training Institute for Advancement of Women、略称 I N S T R A W ; インストロー）について、その組織、活動を概説し、機関誌の女性と統計に関する主要記事・論文の翻訳をしたものである。これは、法政大学日本統計研究所の1993-1994年度のプロジェクト「女性と統計：女性に関する統計の実情と改善の方向」の一連の作業の中から生まれたものである。

国連は設立当初より女性の地位の向上にとりくんできており、とくに国連婦人の十年が果たした役割は大きい。インストローはこの十年の発端となった1975年世界婦人会議の要請によってできたものであり、男女平等をめざす国連の活動のプレーンのひとつである。また1975年以来、女性の実情を明らかにする統計活動の重要性が認められ、それは本プロジェクトの基幹をなす認識でもあるが、とくにこの分野におけるインストローの業績はひじょうに高く評価されている。だが、日本でのインストローの知名度は残念ながらたいへん低い。

地球規模での平等、発展、平和にとって、国連の啓発的活動が重要であることはいままでもないが、共通の概念にもとづく統計データの収集を行うにあたっては、なおいっそうその活動は中心的意義をもつ。すでに、統計研究参考資料 No. 34ならびにNo. 39にあるように、国連総会と経済社会理事会での決議、同理事会の機能委員会としての「統計委員会」とこれを事務的に支える国連統計局が活動のひとつの中心となって、女性の状況を統計によって正しくとらえる努力が確実になされている。もうひとつの中心となって、女性の中でもとくに開発途上国の女性の状況を問題としているのがインストローである。女性の労働のなかでも見えない部分を数値にあらわし、経済活動にどれくらい大きな寄与をしているか示すことはもっとも大きな課題のひとつであるが、この問題の解決のために、インストローはILOならびに国連統計部門と協力し、測定の方法や指標について多くの実践的研究を行うと同時に、実際に統計を作り、使うための戦略的な訓練を行っている。このような動きは、1970年代-1980年代前半における基礎的な活動の上にある、今日的傾向である。上記資料 No. 34、

No. 39とこのNo. 40によって、これらふたつの中心から生み出される国際的な動きを把握することができよう。その動向は、日本のこの問題に対する認識や努力が世界の中でたちおけていることを明らかにしている。

これらに鑑み本冊子では、I. においてインストローの国連での位置付け、設立の経緯、活動等を概観するとともに、II. ではインストローが発行する「インストローニュース」の中から、とくに統計関連記事を選んで訳出したものを集録している。さらに、III. として、インストローの出版物リストをあげた。

インストローに関しては、日本国内で得られる情報は少なく、またサント・ドミンゴ（ドミニカ共和国）本部からの出版物の入手も必ずしもスムーズではなく、資料を完全におさえたはといえない。したがって I. の説明はおよそのところでまとめたものである。

インストローニュースの記事は、統計研究参考資料 No. 39でとりあげた文書の要約紹介の他、要点をついた有益なものが多いだけでなく、インストローをふくむ各機関の活動を概観し、その年の、あるいはその年までの、女性の統計に関するさまざまな国連活動の把握を容易にしている。この中から本冊子の目的にてらして、主な総括記事と主要問題のみを訳出した。主要問題としては、その重要性から、「家事」、「SNA」、「インフォーマルセクター」にテーマをしぼった。また翻訳は、研究の参考資料とするための仮訳である。

III. は、インストローの活動をひろく知るための一助となろう。

本冊子は、インストローの活動について広く理解を得ることともに、女性について偏りのない正確な統計を得ることの難しさと重要性が各分野でいっそう深く認識され、女性に関する統計が改善されることを目的として作成・配布される。

本冊子のI, IIについては、中野恭子が担当し、企画・編集とIIIを伊藤陽一が担当した。

1993年 8 月

中野 恭子

## 目次

まえがき	1
I インストローについて	5
1 機構等の概略	5
(1)インストローとは	5
(2)設立の経緯	7
(3)目的	10
(4)組織	12
(5)使用言語	14
(6)財政	14
(7)所在	15
2 活動	16
(1)活動分野と概略	16
(2)女性と統計に関する活動	17
(3)その他の活動	22
II 女性と統計に関する主要論文・記事（インストローニュースから）	26
1 女性に関する指標と統計についてのインストローの活動 （ニュース Vol. II. 1-2, 1985）	26
2 女性についての統計的研究（インストロー設立10周年回顧特集から） （ニュース14号、1990年春）	38
3 女性の仕事を統計で見えるようにする（ニュース9号、1987年冬）	46

4	評議員会が統計プログラムを評価（ニュース12号、1989年夏）	49
5	家事労働：国際標準職業分類にふくめるべき理由とその方法 （ニュース11号、1988年冬）	53
6	国民所得と女性の労働（ニュース8号、1987春・夏）	58
7	女性がSNAにふくめられる必要（ニュース9号、1987年冬）	59
8	インフォーマルセクターにおける女性の統計を収集し分析する 方法についての地域ワークショップ（ニュース15号、1990冬）	63
9	アフリカのインフォーマルセクターに関するインストローの プロジェクトは統計による解決を試みる （ニュースNo.16号、1991年）	66
10	女性と統計：アフリカのインフォーマルセクタープロジェクト の結論（ニュース No.17号、1992年春）	79
III インストローの出版物		82

# I インストローについて

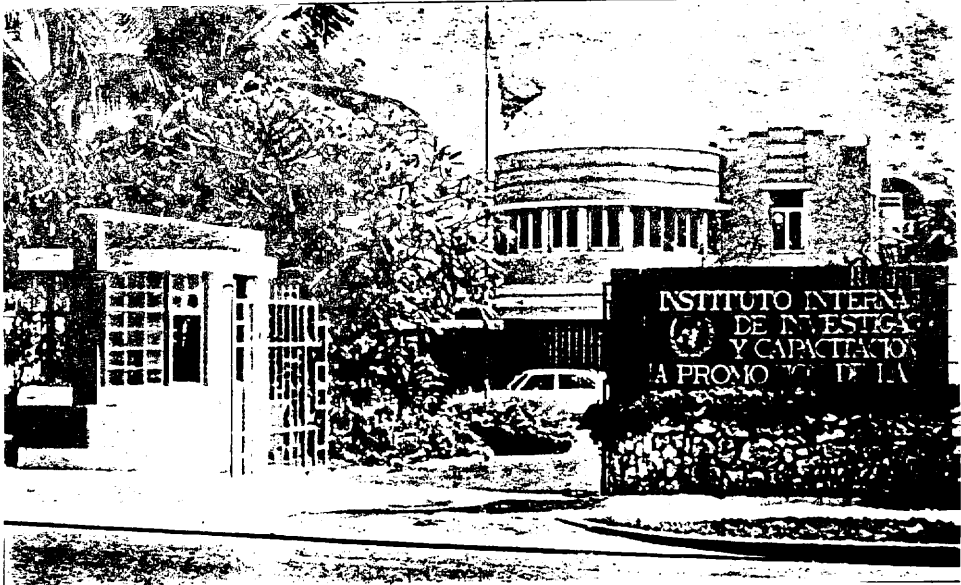
ここでは、インストローそのものについて、機構等と活動の概略を説明する。

## 1. 機構等の概略

### (1) インストローとは

インストロー、すなわち国連国際婦人問題調査訓練研究所(United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women、略称INSTRAW)は、経済社会理事会によって国連システムのひとつとして設立された(理事会決議1998(LX)、1976年5月12日)自治機関である(UN、#AA3375; 以下文章末にある記号・数字は、総会、理事会等の会期や決議、報告、文書等の番号を示す)。

経済社会理事会は、国連憲章第9章にある経済的および社会的国際協力のために設けられた専門機関について、総会および総会の権威のもとに、その活動の調整に当たる責任を負い(国連憲章第9章第60条)、国連、その専門機関、研究所など、国連枠内の諸機構の経済的・社会的活動を調整する。総会は国連



インストロー本部正面入口(サントドミンゴ、ドミニカ共和国)

の主要審議機関であり、全加盟国の意向が示される場である。インストローの活動は、経済社会理事会がインストローに対して、また総会に対して行う勧告によって調整されるが、インストローは自治的な組織であり、その規約によれば、「インストローとインストローの仕事は、評議員会（後述）によって支配される」。インストロー規約は、第38回総会の決議(38/104)の要請にもとづいて国連事務総長が草案を用意し、インストロー評議員会が検討・修正の上経済社会理事会へ報告し、これを受けて経済社会理事会が総会に提出し(A/39/511、1984年9月26日)、第39回総会において承認された(39/249、1985年4月9日)ものである(*Yearbook of the United Nations*、およびインストロー規約による)。

経済社会理事会にはいくつかの補助機関があり、機能委員会(6つ)、地域委員会(5つ)、常設委員会(6つ)、専門家機関の4種類にわけられる。地域委員会とは、アフリカ(ECA)、アジア太平洋(ESCAP)、ヨーロッパ(ECE)、ラテンアメリカ(ECLAC)、西アジア(ESCWA)の各経済委員会であり、インストローと密接な関係にある。機能委員会の中でインストローと関係の深いのは、統計委員会と婦人の地位委員会である。インストローは経済社会理事会の補助機関ではなく、国連憲章の目的にそって設立された機関であるが、経済社会理事会が調整の任を負う16の専門機関(specialised agencies)のひとつとしては位置付けられていない。これら諸機関の定義と権限については議論のあるところである(コマンテール国際連合憲章による)。

これらを支える事務局として国連事務局内に設置されているのが、統計局および婦人の地位向上部(DAW; Division for the Advancement of Women)の婦人の地位委員会事務局である。国連事務局は、国連の他の機関のための業務を遂行するとともに、これらの機関が決定した計画や政策を実施する。国連事務局内にはこの他、総会の条約委員会のひとつである女子差別撤廃委員会の事務局、世界会議事務局も設置されている。

女性の地位に関する組織としては、これらの他に国連婦人開発基金(UNIFEM; United Nations Development Programme for Women)があるが、これは国連開発計画(UNDP; United Nations Development Programme)の下につくられた組織である。インストローの現所長、マーガレット・シールズ(Shields, Margaret)によれば、婦人の地位向上部が女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃条

約に関する調整を受け持ち、国連婦人基金が運営機関となるのに対し、インストローは研究開発部門を担う（インストローニュース No.18号、1992年秋）。

## （２） 設立の経緯

1945年に発足し、国連憲章制定の翌1946年に第1回総会で婦人の地位委員会を設置した国際連合は、1967年11月の第22回総会で婦人に対する差別撤廃宣言を行っている。さらに、1972年第27回国連総会は1975年を国際婦人年とすることを決定、その1975年6月19日から7月2日まで、メキシコシティにおいて国際婦人年世界会議（メキシコ会議）が開催された。

メキシコ会議には、133カ国および国連諸機関、専門機関等の代表149人を始めとして、オブザーバー、政府間団体、NGO、PLO等の組織を含む267の国、機関等から約3000人が参加した。その主要な議題としては、国際婦人年の目標、現在の施策および計画や世界行動計画（議題11）の他、男性と対等なパートナーとしての婦人の発展過程への組入れ（議題10）があり、この議題10については第2委員会でも討議された。第2委員会はイラン代表を議長とし、議題9、10に関する57の提出決議案を初めとする合計64の決議案を審議し、最終的に28の決議案を採択している。そのひとつが、決議案XX「婦人の地位向上のための国際調査訓練研究所」であり、イラン、アメリカ、ジャマイカ、エジプト、メキシコ等によって提案され、全会一致で採択されたものである。

決議案XXは、国連総会が「全体的発展努力への、婦人の全面的くみいれを保証し」、それを「激励し、促進する計画やプロジェクトや活動に対する援助を強化」しようとしている（決議3342）ことを基盤にしている。そして、「調査、データ、情報の不十分なことが、婦人の地位の向上を促進するための発展戦略や計画の作成に障害になっていることに注目」し、「婦人の有効な参加を高めるために訓練の機会を与える必要のあることを十分に自覚」して、次のことを要請することを決定したものである（要約）。

- ・ 国連の援助による「婦人の地位向上のための国際調査・訓練研究所」を設立する。
- ・ この研究所は、任意拠出でまかなわれ、各国、地域、地域間経済、社会研究所や国連の専門機関と協力する。



- ・ 活動は、調査や情報の収集と普及、婦人の経済、社会、技術の変化が婦人の生活に及ぼす影響についての調査計画の援助、とくに発展途上国の婦人のための訓練計画の開発、調整、供与である。
- ・ 事務総長に対し、この研究所設立を補佐する専門家グループの任命を求める。
- ・ 事務総長に対し、専門家グループ報告にもとづいて経済社会理事会へ報告書を提出するよう要請する。

これを受けて1975年の第30回国連総会は、決議(3520(XXX)、1975年12月15日)によってメキシコ会議で採択された宣言、行動計画、決議その他勧告に含まれている活動を支持することを決議、婦人の地位向上のための国際調査訓練研究所の設立を決めた。議題75(国際婦人年)と議題76(社会における婦人の地位および役割)を同時に審議し、同研究所をふくめ、これらに関する決議案を総会へ付託したのは第3委員会であったが、審議においては、メキシコ会議の勧告を広く支持しながらも研究所の具体的な構想については危惧の念を表す国が多く、事務総長に設立に関する専門家グループを指名するよう求めた。

翌1976年、専門家グループは事務総長へ報告書を提出し、これにもとづいて事務総長は、婦人の地位向上のための調査訓練研究所の設立についての経済社会理事会への報告書の中で勧告を行った。それによれば、専門家グループの提言は、研究所は自治機関であって経済社会理事会へ報告を行うのがよいというものであった。同理事会は5月12日、この勧告を受入れることを無投票で決定(1998(LX))、任意の拠出金による自治機関として、1977年までに婦人の地位向上のための調査訓練研究所を設立することを決定した。また、ガイドラインも決定した。それによると、研究所は以下のような組織である。

- ・ 国連システム内で関連するすべての組織と緊密に共同する。
- ・ これらの諸組織との間で活動を調整する。
- ・ 開発途上国の女性にとくに注目する。
- ・ 婦人の地位委員会と緊密な協力を行う。

さらに、国連事務総長に対して、設立に必要な協力、設立準備のスタッフの任命、各種援助の依頼を要請し、イランの設置国申し出を歓迎しながら、同じく事務総長に、適切な設置場所を検討して第31回総会へ報告するよう要請してい

る。同年の第31回国連総会は、12月16日にこのガイドラインと研究所の設立を承認し、またイランの設置国としての申し出を受入れた（31/135）。

引続き1977年の第32回、1978年の第33回総会で設置へ向けて進むための具体的な報告を事務総長に求める決議がなされた。1979年1月12日にはイランから設置国辞退の申し出があったが、1月29日には代替としてオーストリア、ドミニカ共和国、チュニジアからそれぞれ設置国としての申し出があった。経済社会理事会は審議の結果、ドミニカ共和国への設置を勧告し（1979/11、1979年5月9日）、第34回総会決議（34/157、1979年12月17日）はこれを承認し、所長を早急に推薦するよう事務総長に要請した。

ドミニカ共和国における女性運動の歴史は長い。インストローニュースNo. 14（1990年、春号）の記事によれば、インストローのホスト国として申し出たのは、また国連総会がそれを承認したのも、このことがひとつの理由になっている。国連憲章に署名した4人の女性のひとりにはドミニカ出身であったし、世界で最も歴史の長いフェミニストジャーナル、Vos de la Mujer は1973年にサントドミンゴで発行されている。



初代所長 D, フェレンチック



現（第2代）所長 M. シールズ

また、事務総長は同総会で、婦人の地位向上のための調査訓練研究所のための国連信託基金を開いたと報告した。

一方、経済社会理事会において評議員が指名され(1979/58、1979年8月2日)、10月22日から26日までジュネーブで第1回評議員会が開かれた。そこでは、提案された1980-1981年のプログラム予算を審議、採択すると同時に、所長の指名を延期し、仕事を開始するためのコーディネーターとスタッフを指名するよう勧告した。

このコーディネーターのもと、翌1980年1月より、ニューヨークの国連本部においてインストローはその活動を開始した。実際の活動は、研究、訓練、情報と、文書、コミュニケーションにグループ分けされ、活動計画によれば、研究と訓練に関する現存のデータのサーベイと普及が求められた。文書は1980年の世界会議へ提出され、この年の評議員会の報告書は今後の活動を展望するものであった。

1981年3月31日に、インストロー(INSTRAW)本部をドミニカ共和国サント・ドミンゴに設置することについて国連とドミニカ共和国との間で調印が行われ、8月18日に同国国会で承認された。また国連事務総長は、各国と協議の上、評議員会の意向を入れ、所長としてユーゴスラビア出身のフェレンチック(Pastizzi-Ferencic, Dunja)氏を推薦した(S-G, E/1981/33)。経済社会理事会は5月6日にこれを歓迎し(ESC, 1981/13)、フェレンチック氏は1981年6月に着任した。1983年の本部落成以降、本部はドミニカ共和国サントドミンゴにおかれ(38/104)、1984年11月15日には規約が国連総会で承認された(39/249)。フェレンツェック氏は1990年をもって所長の職を離れ、現在はニュージーランド出身のシールズ(Shields, Margaret)氏が、副所長スタミリス(Stamiris, Elini)とともにその職にある。

### (3) 目的

1975年世界会議では、女性の地位向上は意志だけでは実現されないことが認識された。実現のためには、地位改善を目指す政策を評価するとともに、実態をモニターすることが必要であるとされた。そして、調査、データ、情報が不十分であるために女性の地位向上が妨げられていることに注目した。この認識

において第2委員会決議XXは、以下のことを目的とした研究所として国際婦人問題調査研究所を設立することを勧告している。すなわち、1. 女性が効果的に参加するための計画および政策作成のための基礎として、調査や情報の収集・普及にあたる、2. 女性の状況の変化を調査し、経済、社会、技術の変化が女性の生活に及ぼす影響についての調査計画を援助する、3. 女性、とくに発展途上国の女性のための訓練計画を展開、調整して実施し、女性が各国での調査を行い、各自の社会において指導的役割を担い、収入の機会を増大できるようにする、である。

これに依拠して、インストロー規約では設置目的を次のように述べている。

「開発に女性を取り込み、動員するために、世界規模で女性の問題に関する意識を喚起するために、そして女性が新たな方向へ向けての挑戦をより良く援助するために、研究を行い、訓練プログラムを設定する。」(インストロー規約第1条)

具体的には、目標は

「研究、訓練、情報の収集と普及によって、女性の地位向上をはかり、また参加者・受益者双方としての女性を開発に取り込むことを刺激し、援助すること」

であり、そのための機能として

- ・ 研究を指揮する
- ・ 訓練プログラムを設定する
- ・ 情報、文書、コミュニケーションのシステムを設置、維持する

を持つ。さらに、

- ・ 国際、地域、国内でのネットワークを開発、活用する
- ・ 国連システム内外の諸機関・組織と緊密に協力する

ことが挙げられている。

設立の目的の遂行に具体性を与えるべく、1987年の第42回国連総会では、開発の経済社会的問題に注目した研究、訓練、情報収集活動を継続・強化するとともに、ナイロビ将来戦略にのっとった実践的方法論の開拓をすすめ、諸機関とくに地域委員会との関係を深めることが要求され(42/65)、また第44回総会ではインストローの活動に関して、インフォーマルセクターの女性への言及、開

発途上国内での訓練機能の強化を含む決議がなされている(44/60)。

現所長のシールズ氏は、インストローニュースNo. 18(1992年秋号)の中で、インストローの役割について次のように述べている。

「・・・インストローが究極的に求めるものは、私たちの今日の闘いを孫たちがほとんど時代錯誤のもののように眺める、そんな世界がくることである。そこでは、国連事務総長が、彼女の勸告として、インストロー、UNIFEM、婦人の地位委員会の廃止を発表する。・・・1945年サンフランシスコでなされた国連宣言に署名した人々の夢がすべて実現されたからである。」

#### (4) 組織

自治的な組織であり、11名の評議員からなる評議員会(The Board of Trustees)が意思決定機関である。インストロー規約によれば、評議員は、加盟各国から推薦され、経済社会理事会で指名される。任期は3年であるが、1回のみ再任可能である。評議員の推薦にあたって、各国は、質の高い専門的知識を持つ人物であることに留意するよう求められている。その構成については、地域的に均等な配分を原則とし、第1期の評議員にはE. ボーザーラップ (Boserup, Ester)やI. ティンカー(Tinker, Irene)のような著名な研究者がふくまれているが、1980年4月には、評議員の地域分配について、アルゼンチンが第2委員会での不満を表明している。1992年現在の評議員は、スーダン、バングラデシュ、モロッコ、メキシコ、タンザニア、タイ、オランダ、スペイン、バハマ、ポーランド、ノルウェイの各国から出されている。

同じく規約によれば、評議員会は少なくとも年一回会合を開き、議長(President)をふくむ役員を独自に定めた方法にしたがって選出し、活動方針やガイドラインの作成、所長が提出するプログラムおよび予算の審議および承認を行う。また、基金の充実をはかり、運営に必要もしくは望ましい勸告を行う。評議員会は定期的に経済社会理事会に対して報告を行い、場合によっては総会へ報告する。

所長の指名は、評議員会と協議の上、国連事務総長が行う。所長は、評議員会の総指令にしたがって、また国連事務総長から権限委任された限りにおいて、研究所の組織、指揮、運営すべてに責任を負う。具体的には、プログラムと予



評議員会光景

算を評議員会に提出して審議・承認を受ける、プログラムの実行を監督して適正な支出をはかる、評議員会に対し活動報告書を逐年および必要に応じて提出する、評議員会の承認を得た報告書を経済社会理事会ないし国連総会に対し適宜提出する、国連事務総長の代理としてスタッフを指名し指揮する、他の諸機関と研究所の活動を調整する、評議員会が承認した予算内であれば評議員会ないし事務総長が決定したその他の指示・活動を行う、などである。

事務総長の代理としての所長および、国連の5地域委員会の代表、ドミニカ共和国政府代表は、評議員会で職務上の評議員 (Ex-Officio members) をつとめる。

スタッフは約40名である。スタッフもまた、できるかぎり地域的に広い範囲から、各職務に必要な条件や質を考慮して採用されなければならない。任期と諸条件は、所長と同じく国連人事規則ならびに国連職員規則にしたがう。給与は、当研究所のための国連信託基金から支出される。所長およびスタッフは国連職員であり、国連憲章の定めにしたがう。

その他、評議員会が指名する名誉所員 (honorary fellows)、所長が指名する上級所員 (senior fellows) をそれぞれ任期1年でおくことができる。研究所の

目的のために、名誉所員は実質的な業務を行い、上級所員は講義や研究を行う。所長はまた、準所員 (junior fellows) を指名することができ、奨学制度の一環として予算内で資金供与を行う。活動の分析ならびに計画、あるいはプログラムに関連する特定の業務のために、所長はコンサルタントを指名することができ、コンサルタントは事務総長の設置した方針にしたがって研究所にたずさわる。通信員 (correspondents) とフォーカルポイント (focal points) は、各国ないし各地域の組織との接触、研究の助言のために活用される。これらの人々は、インストローのスタッフではない。

部局は2つに分れている。ひとつは、情報・文書・通信 (Information, Documentation, and Communication) であり、もうひとつは、訓練調査 (Research and Training) である。さらにユニットは、運営管理 (Direction and Management)、文書通信 (Documentation and Communication)、情報 (Information)、訓練調査 (Research and Training) に分れている。 (*International Organizations*, 1991, Gale Research Inc.)

#### (5) 使用言語

国連公用語を使用。但し、出版物は英、スペイン、仏語が主。(III参照)

#### (6) 財政

財政はインストローのための国連信託基金から支出され、加盟国、NGO、慈善団体、個人の寄付の任意拠出によってのみ支えられる組織である。そのため規約の中でも、評議員会の任務として、所長の業務として、基金の充実がくりかえし謳われている。

拠出金は、インストローの目的と方針に合致する場合にのみ、受領される。任意拠出金のうち、使用制限のないものと評議員会で承認された活動の遂行を指定しているものは、国連監査官 (Controller on the United Nations) の同意を得た後、所長によって受け取られるが、その他の任意拠出金は、事務総長の意向を入れて評議員会が承認すれば、受け取ることができる。国連にとって緊急あるいは究極的責任と関わる拠出については、総会の承認だけで受け取ることができる。このような任意拠出金から引出された基金は、事務総長が財政

規則にしたがって設置した「婦人の地位向上のための調査訓練研究所信託基金」  
におかれる。運用は、財政規則にしたがう。

設立当初の1980年に国連信託基金になされた寄付は、イタリア 30,000 U.S.  
\$、メキシコ 5,000 U.S.\$、トルコ 4,875 U.S.\$、ベネズエラ 5,000 U.S.\$、合  
計 44,875 U.S.\$であったが、1982年の拠出予定額(Pledge)は、日本、デンマ  
ークの100,000 U.S.\$を始めとする16カ国 334,913 U.S.\$となっている。1990  
年には、1,027,415 U.S.\$となり、1990-1991年の予算総額で 3,105,700 U.S.  
\$である。(インストローニュースNo. 14号、1990年春)

### (7) 所在

本部はカリブ海地域のドミニカ共和国の首都サントドミンゴにある。

名称: International Research and Training Institute for the Advance-  
ment of Women (INSTRAW):(Instituto Internacional de Investigaciones y  
Capacitacion de las Naciones Unidas para la Promocion dela Mujer)

住所: <Avenida Cesar Nicolas Penson 102 A> (郵便のときこの行の表記不要)

Apartado Postal 21747 (英文表記: P. O. Box 21747)

Santo Domingo, Dominican Republic

Phone 1-809-685-2111

Fax 1-809-685-2117

Telex 326-4280 WRA Santo Domingo

国連分室 UN Liaison

United Nations Room S-2294

New York, NY 10017

United States

Phone 1-212-963-5684

Fax 1-212-963-2978

Telex 420544





## 2. 活動

### (1) 活動の分野と概略

現所長シールズ氏によれば、インストローの活動のうち、調査(Research)は女性を見えるものにする、すなわち女性の状況と活動をより正確に、また包括的に記述し、定義することであり、訓練(Training)は有効な方法を開発することである。そして、この2つが活動の双壁であり、さまざまな情報活動によって支えられる。

1990年2月12日-16日の第10回評議員会において承認された1990-1991年の活動計画では、開発における女性について国連内外で研究、訓練、情報がはたす役割のいっそうの重要性が強調され、それゆえインストローがこの分野で新しい方法論の研究を続けることが勧告されている。

活動計画では、研究および訓練のプログラムに関連して、次の6つのサブプログラムを設定している。

- ・ [女性と開発への包括的アプローチについて] 開発関係の国際的議論および動向を常にモニターし、主義や文化を越えた方法論を適用し、女性と開発への包括的アプローチを強化する基盤をつくる。
- ・ [女性の統計、指標、データについて] 訓練ならびに女性の家事労働(work in the household)とインフォーマルセクターでの労働についての新しい概念枠組みにとくに注目しつつ、女性に関する統計データの改善へむけて、革新的方法によるアプローチを継続・強化する。
- ・ [政策決定について] 開発プロジェクトをジェンダー視点で分析する方法論のモニターと評価を継続して行う。インフォーマルセクター、テクノロジーの選択とアクセスに関する政策分析の他、新しく女性、環境と持続可能な開発の政策分析も行う。
- ・ [分野別活動] では、飲み水と下水の供給における女性の役割を強化し、また新しいエネルギー源のプログラム決定に、主として訓練を通じて参加する。
- ・ [女性と開発における訓練ならびに訓練資料の作成] は、これまでどおり最大の活動である。女性と開発に関する研究を、訓練素材に活かす

ことに重点をおく。その際、女性への融資、融資やインフォーマルセクターでの労働と収入を左右する財政政策、資本と過剰労働力の移動に関するジェンダー問題、女性と開発学の模範プログラムに注目して女性と農村開発のような問題について訓練を行う。訓練セミナーとワークショップの主催と同時にINSTRAW 訓練パックの質の向上と普及を続ける。

- ・ [ネットワーク形成について] 共同作業による成果を重視し、5地域委員会、フォーカルポイント(focal points)、通信員、NGOや学術団体との共同を強化する。また、開発途上国の主要団体と共同することによって、南南協力体制が強められる。

情報、文書、通信に関連しては、このプログラムを継続するために次の活動を行うこととしている。

- ・ 国際的に作成された女性と開発に関する資料が利用できるようにする。
- ・ 開発プロセスへの女性の参加状況を改善しようという意識啓発を援助するために、適切な情報を普及させる。
- ・ 女性と開発に関する情報交換を地域で、世界中でつなぐ役割をはたす。

## (2) 女性と統計に関する活動

インストローの活動のうち、女性と統計に関するものの占める比重はひじょうに大きい。たとえば、1984年から1985年の間に、インストローは統計分野で次の活動を行っている。

- ・ 「女性の役割と状況に関する統計ならびに指標」に関するヨーロッパ経済委員会とインストローの合同会議、ジュネーブ、1985年3月11日-14日
- ・ 「開発における女性を表すために改善された統計ならびに指標」に関するヨーロッパ経済委員会とインストローの準地域合同セミナー、ハラレ、ジンバブエ、1985年4月29日-5月7日
- ・ 「世帯調査によるラテン・アメリカ諸国の女性の状況」に関するECLCとインストローの合同ワークショップ、モンテビデオ、ウルグアイ、1985年6月3日-7日
- ・ 「社会統計および指標」に関するESCAPセミナー、韓国、ソウル、1984年5月22日-28日、ならびにアジア「女性と世帯」地域会議、ニュー・デリー、

インド、1985年1月27日-31日に参加し、論文・口頭で発表した。

- ・ 国連統計局との共同により、2つの技術的報告書を作成した。
- ・ ILOと共同で、『経済活動における女性：世界的統計調査（1950-2000年）』（*Women in Economic Activity-a Global Statistical Survey 1950-2000*）を出版した。
- ・ 一国レベルでは、1985年5月6日-10日に、ドミニカ共和国の女性の地位向上室（Office of the Promotion of Women）と国家統計局と共同で、「ドミニカ共和国の女性統計の改善」についてのワークショップを、サント・ドミンゴで開催した。
- ・ 1985年2月25日-31日、国連大学（UNU）と合同で、世帯、ジェンダー、年齢のプロジェクトの第一回共同評価会議がドミニカ共和国のサント・ドミンゴで開かれた。会合では、この長期プロジェクトの一部として1984年から進行中の4つの研究プロジェクトを概観した。
- ・ 1985年2月25日-3月5日に開かれた統計委員会（この委員会は経済社会理事会ECOSOCによって設立され、24名の委員からなり、2年に一度開かれる）の第23会期で、統計分野におけるインストローの研究を発表した。

このように統計分野を重視していることは、設立の発端となった1975年の世界婦人会議における認識、すなわち、調査、データ、情報の不十分なことが女性の地位向上の障害となっているという自覚からしても、当然のことである。女性が状況を改善させ開発政策をつくりかえていく上で、適切な統計ならばにデータを収集することが中枢的な役割をはたすという認識は、インストローの活動のなかで新しい戦略として反映され、また研究と訓練の成果を相互に取り入れることによって、いっそう有効なアプローチとなっている。インストローは女性を犠牲者としてではなく力を持つ主体と考え、女性の経済活動への寄与を測定する方法の開発に力を注いでいる。

II.の翻訳にも示されているところであるが、インストローニュースでは、毎号、女性と統計に関する記事、あるいは関連記事を掲載しており、またインストローの出版物の中で統計と指標を扱ったものの数はきわめて多い。統計と指標に関しては、いくつかの体系的な研究および訓練が行われてきているが、

インストローニュースNo.14号(1990、春)では、インストロー活動開始10周年の特集記事の中でその活動を概観している。それによると、女性についての統計的研究には、次のようなものがある。

1980-1985年：

女性に関するデータと指標の利用可能性を向上させ、利用を促進するための概念と手法を開発した。

- ・ 測定、雇用、無給家族従業者の地位、調査時期、および農村部の活動などの問題を含んだ女性の経済活動、とりわけインフォーマルセクターにおける経済活動を再定義する必要性を指摘した。
- ・ 研究と訓練が、現行の概念的枠組み、分類、定義を立て直すことに集中すべきであり、女性の状況についての統計ならびに指標をより良く編集し分析することにも貢献するべきであることを提示した。
- ・ 国別、地域別、国際レベルでの女性についての統計の作成者および利用者に対する技術的ガイドとなるよう企画された2つの報告書を作成し、出版した。「女性の状況についての社会的指標の編集」(*Compiling Social Indicators on the Situation of Women*)について、現行の概念、データ源や、指標の利用に対し、経済活動と労働力参加、識字と教育、世帯と家族までを包括して最新の見地から再検討したもの。

「女性の状況についての統計ならびに指標のための概念と手法の改善」(*Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Women*)は、女性の状況についてより長期間にわたってより大きい関連性を持つデータを作成する上での概念的また方法論的な問題の分析。

- ・ 「経済活動における女性：世界的統計調査(1950-2000年)」(*Women in Economic Activity: A Global Statistical Survey(1950-2000)*)は、1985年にILOと共同出版され、国別だけでなく地理的区分や経済的地域別によって女性の経済活動を調査し、政策策定者ならびに一般国民のために最新の情報とデータを一冊で示すことをめざした第一歩とである。この本はナイロビ会議で配布され、今でもその分野における道標とされている。

1985-1990年：

[インフォーマルセクター] 関連の研究では、「インフォーマルセクターでの生産と管理におけるアフリカ女性の役割の改善」プロジェクトを4ヶ国で実施。アフリカのインフォーマルセクターにおける女性について、ケーススタディを行った。その結果、インフォーマルセクターでの女性の活動を測定するには、このセクターの重要性から、概念を明確にする必要があることと、家事労働を金銭的に推定評価する必要があることを指摘し、インフォーマルセクターの情報を専門に扱う公共機関の必要性を説いた。インフォーマルセクターは今日開発途上国の大きな問題であり、とくに女性、中でもとりわけアフリカの女性にとっては根源的問題である。解決法としては、多様化が決め手であるとされ、救済策を導くためにインストローの女性の経済活動測定の努力が続けられている。インフォーマルセクターの定義については、なお議論のあるところである。

- ・ 「工業、商業、サービス業のインフォーマルセクターにおける女性統計の編集・分析ハンドブック」と「アフリカ4カ国の工業、商業、サービス業のインフォーマルセクターにおける女性統計の編集についてのパイロットスタディの総合」という2つの文書を改訂した。
- ・ ふたつの準地域セミナーを開催。1回目（ハラレ）は、女性の活動についてのデータの収集、分析ならびに評価を行う現在の方法の問題点に触れ、解決法を提案した。2回目（モンテビデオ）は、労働市場における女性の状況の世帯調査を通じた統計的分析に焦点を当て、新しい手法の必要性を強調した。
- ・ 女性の統計に関する ECE/INSTRAW 合同会議へむけて、女性の仕事の測定についての技術的論文の作成
- ・ インフォーマルセクターにおける女性の統計を収集し分析する方法についてのインストロー/ECA/国連統計局共同の地域ワークショップ（シアボンガ、ザンビア）
- ・ 同ワークショップ（ワガドゥグ、ブルキナファソ）

[SNA] 関連の研究では、その改訂とそれに関連した国際分類の修正作業の検討を行った。「インフォーマルセクターにおける女性の収入ならびにその参加と

生産の測定に関する専門家グループ」会合では、現存の生産区分を正しく適用すれば、今日開発途上国で女性が行っている多くの生産活動はSNAに包括されることを指摘した。

- ・ 国際標準職業分類（ISCO:International Standard Classification of Occupation）、国際標準産業分類（ISIC:International Standard Industrial Classification of All Economic Activities）、世帯や一般政府のような経済セクター、について変更を勧告した。
- ・ SNA改訂に関する論文発表

〔家事労働〕関連の研究では、女性の日常生活、とくにこれまで伝統と習慣によって隠されていた面については、いっそう焦点を当てる必要が認識された。家事労働を国際標準職業分類にふくめるべきであるとの見地に立ち、生活時間調査の有用性を強調した。おもに女性の行う無報酬、無契約の仕事であり、いつ、どのようにして、どれくらいなされているかの測定が容易でない家事労働について、感度の良い分類を行うことは、かくれた事実を明るみに出す戦略的機能をはたす。国家統計局のスタッフは、女性についてのデータに一般的である数の不足とバイアスを認識し、それが如何に開発の計画とプログラミングに影響したかを知るよう訓練されるべきであるとされた。

- ・ 国連統計局と共同の「3カ国における職業と産業分類の経験の検討と女性の問題への展望からみた1987年の国際標準職業分類改訂案についてのコメント」の中で、家事労働の分類について言及した。

〔その他〕の活動には、1987年に着手した高齢女性の統計データベースなど、以下のようなものがある。

- ・ 「ラテン・アメリカとカリブの高齢女性のための諮問グループ会議：現状と政策との関係」（ワシントン、1988年）の会合のために2つの論文を作成した。ひとつはラテン・アメリカの成年女性についてデータベースでの主な調査結果をまとめてあり、もうひとつは高齢女性のデータ収集と研究における問題についての論文であった。後者は、高齢女性についての刷新的なデータ収集のためには新しい概念の枠組みが必要であることを示した。

- ・ 女性についての統計ならびに指標と、W I D 政策の分析、計画、プログラミングの定式化のための訓練を行った。

〔訓練での実践活動〕として、統計についての研究を有効な訓練プログラムに変換すること続けた。訓練参加者からは、統計の作成者と利用者の話し合いを進めること、概念、定義、方法論を改訂することの重要性がしばしば勧告された。

- ・ 1985年、ドミニカ共和国（5月）で、インストラーの訓練方法論を試すために一週間の国内ワークショップが開かれた。訓練資料は統計についてのインストラーの初期の出版物から引出し、その訓練技術を伝統的なものから革新的なものに変える道を開いた。
- ・ 1986年、3つのワークショップが実施された。ひとつは準地域レベルでカリブ地域（CARICOM: Caribbean Community）の国々のために開かれたもので、そのCARICOMにおけるこのタイプのワークショップとしては最初のものであり、あとの2つはナイジェリアとパキスタン（それぞれ8月と11月）で、一国レベルで行われた。
- ・ 1987年には、インドネシア、スリランカで国内ワークショップを開いた。
- ・ 1988年には、中国、ギリシャで訓練用国内ワークショップを開催し、コスタリカで準地域ワークショップを開いた。
- ・ 1989年には、セネガル、インド、エクアドルで国内訓練用ワークショップを開催した。

### （3）その他の活動

訓練活動としては、「訓練を行うものを訓練する」ためのマルチメディア訓練パックの開発に焦点を当て、数々のワークショップやセミナーを実施している。地域に固有の状況に留意して地域レベルでの訓練を実施し、各国政府の政策に反映させる努力をしている。すべて参加を重視する訓練であり、1991年までに2000人以上の訓練参加者を得ている。今日的には、東欧の農民女性の訓練について、訓練者の訓練に関心を寄せている。

出版活動も活発に行っている。インストラーの出版物リストは III に示すが、

インストローは活動開始直後から機関誌として、年3回、英語・スペイン語・フランス語によるインストローニュースを1万部以上発行し、120カ国を上回る政府、NGO、研究施設、女性グループ、また個人に配布している。1992年秋で18号を数える。また研究論文、会合記録、書物を多数出版している。日本語に訳されたものは少ないが、1979年から1984年まで評議員をつとめた高橋展子氏の訳による『世界経済における女性』（原題 *Women in the World Economy*、1987）は、英語版出版とほぼ同時に日本で出され、類書の少ない貴重な文献となっている。また、データベースによる情報提供も行っている。文書センターを持ち、情報収集や意見交換、研究のために訪れる人は年間をとおして多い。特に、地元であるドミニカ共和国のグループとの交流は、双方に有益である。

その他の領域においても、例えば、1986年にはじめて国際女性デーを祝い、女性の権利と世界の歴史をふりかえって、「全世界の女性は達成されたものについては祝い、これからしなければならないことについては力を結集する」と、その機関誌の中で述べている（インストローニュース、1986年春夏号）。集会では国際女性デーの由来についてのスピーチ等が行われたが、先進国で始められた国際女性デーの行動が、ここでは開発途上国の女性労働者の問題を第一義として推進されている。同誌に「文化、階級、人種、民族を越えて、平等という永久の夢を求めて力を合せている」とあるのは、国際女性デーの今日的意義を明確に表すとともに、現所長シールズ氏が最終目標として掲げる、「研究所が一時的な存在としてその活動を止める時」の実現をめざして力を結集することがインストローの活動であることを示している。

\* \* \* \*

以上、インストローの機構と活動について、入手した諸資料にもとづいて紹介、説明してきたが、これらによって、また以下の II, III によっても、国連の女性問題に対する取り組みにおけるインストローの存在の重要性は明らかであろう。

国連の取り組みは、1975年の世界婦人会議をさかいに、理念から現実の行動へと移ったといえる。さらに、1985年の「女子に対するあらゆる形態の差別の



撤廃条約」の批准をへて、実質的平等の実現をめざした活動を行っている。実質的平等への戦略において、女性の現実の状況を正確に、偏りなく、地球規模で描写することは、すべての行動の基盤となる重要なことであり、それを約15年にわたって継続的かつ精力的に行ってきたインストローの活動は、男女の平等を目指すあらゆる分野から、高く評価されるべきである。

また、国連がその設立にあたって、実質的に有効な調査研究活動を行えるよう、十分に検討し、慎重に取り組んだことは、現在のインストローの有益な活動を導いたものとして評価できる。自治的であることは、女性が主体的に行動を進めることを推進する。訓練を参加重視型にすることは、初代所長フェレンチック氏が強く説いたことであるが、実際、インストローの活動では、研究を訓練に活かし、訓練から得たことを研究に活かすことによって、変化する女性の状況が即時的に取り込まれる機会を作っている。女性が力を持つ主体であるとの認識はきわめて重要である。

本冊子のII.でとりあげた「インフォーマルセクター」、「家事労働」、「SNA」はどれも、女性を統計データで描写するときの大きな問題である。とくに、インフォーマルセクターと家事労働の問題は、実質的平等をめざすときに、不平等を見えにくくする大きな障害物といえよう。そのため、インストローは多くの専門家会議、国連統計局等との共同作業、いくつものワークショップを行ってきているのである。国際的な統計研究が有効な概念と手法を開発することが望まれる。

日本においても、女性の実情を数量化してあらわすことの重要性をいっそう認識し、正確な描写への努力を行うことが望まれる。そのためには、先行研究としてのインストローの取り組みを知り、文化や主義を越えたアプローチに学び、その上で日本の地域的特性を考慮して研究および訓練を進める必要があるだろう。

## 参照文献

インストローとその活動については、何よりも[1]インストローの機関誌、INSTRAW NEWS (No. 1, <1984>—No. 18, <1992>) が毎号伝えている。また、[2]日

本統計研究所(1993)『「女性と統計」関連主要文献目次・序文等翻訳集』(統計参考資料 No. 39)とそこに紹介されている文献が、インストローの統計に関する活動を把握するうえで貴重である。さらに、[3]本冊子のIIIで示したインストローの出版物リスト自体がインストローの活動を伝えている。本稿では、このリストに掲げられている若干の文献も参照した。[4]当然のことながら、1975年メキシコ会議にはじまる国際婦人会議等の報告文書も直接・間接に関係する。以上の文献の他に以下のものを参照した。

Hilkka Pietila & Jeanne Vickers(1990), *Making Women Matter- The Role of the United Nations*, Zed Books

INSTRAW(1987), *Women in thr World Economy*, (高橋展子訳<1987>、「世界経済と女性」東京書籍)

INSTRAW(1989), *Summary of Proposed Programmes for the biennium 1990-1991*, mimeographed

INSTRAW(1990), *Statute of the United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women*.

INSTRAW(1991), *Catalogue of INSTRAW Publications* (主要文書の要約あり)。

United Nations(1946 - 90 ), *General Assembly Official Record*, 1st-45th.  
関連して外務省国際連合局国連政策課「第〇回総会の事業」がある。

United Nations (1992), *Everyone's United Nations -A Handbook on the Work of the UN*.

United Nations(1991), *Womwn-Challenges to the year 2000*.

Omunigraphics Inc.(1992) *WHO'S WHO in the United Nations and Related Agencies*.

Gale Research Inc.(1991) *International Organizations*.

K.G.Saur Verlag.(1991) *Year Book of International Organazations*

Vol. 1991/92.

K.G.Saur Verlag. *Year Book of the United Nations*, 1975~91年の各版.

伊藤セツ(1991), 「国際婦人デーの新しい展開」『婦人通信』No. 379(3月号)。

国連広報センター(1993)『国連の女性問題への取り組みと日本-国連デー講演会』、世界の動き社。

# I I 女性と統計に関する 主要論文・記事 (インストローニュースから)

## 1 女性に関する指標と関連統計に ついてのインストローの取り組み

INSTRAW's Work on Indicators and Related Statistics on Women

INSTRAW NEWS Vol.11 No.1-2 June 1985

インストローは、女性の状況に関する統計と指標の改善に重点を置いて研究を進めてきており、これに関わる6つのプログラムが研究プログラムの中で承認されている。プロジェクトはその運営形態にあわせて、国連本体、機関、地域経済委員会ならびに専門機関と共同で実施されている。1984から1985年にかけて、インストローは次の活動を行った。

- ・「女性の役割と状況に関する統計ならびに指標」に関するヨーロッパ経済委員会とインストローの合同会議、ジュネーブ、1985年3月11日～14日



- ・「開発における女性を表すために改善された統計ならびに指標」に関するヨーロッパ経済委員会とインストローの準地域合同セミナー、ハラール、ジンバブエ、1985年4月29日～5月7日
- ・世帯調査を通じたラテン・アメリカ諸国の女性の状況」に関するECLCとインストローの合同ワークショップ、モンテビデオ、ウルグアイ、1985年6月3日～7日
- ・「社会統計および指標」に関するESCAPセミナー、韓国、ソウル、1984年5月22～28日、ならびにアジア「女性と世帯」地域会議、ニュー・デリーインド、1985年1月27日～31日に参加し、論文・口頭で発表した。
- ・国連統計局との共同により、2つの技術的報告書を作成中である。第1の報告書は、各国が世帯調査を通じて女性の状況についての統計を収集した編集する際に利用できる問題点、系列、分類、定義について例解的に論述している。第2の報告書は、非金銭的な経済活動への女性の参加を測定し、評価する技術についてのものであるが、これは現在進行中の国経済計算(SNA)改訂作業にとって価値あるものとなるだろう。
- ・ILOと共同で、「経済活動における女性」(*Women in Economic Activity - a Global Statistical Survey 1950-2000*) を出版した。
- ・一国レベルでは、ドミニカ共和国の女性の地位向上室(Office of the Promotion of Women)、国家統計局と共同で、「ドミニカ共和国の女性統計の改善」についてのワークショップを、1985年5月6日～10日にサントドミンゴで開催した。
- ・国連大学(UNU)と合同で、世帯、ジェンダー、年齢のプロジェクトの第一回共同評価会議が1985年2月25日～3月1日にドミニカ共和国のサントドミンゴで開かれた。会合では、この長期プロジェクトの一部で1984年から進行中の4つの研究プロジェクトを検討した。
- ・1985年2月～3月5日に開かれた統計委員会(この委員会は、ECOSOCによって設立され、24名の委員からなり、2年に1度開かれる)の第23会期で統計分野におけるインストローの研究を発表した。

## 『経済活動における女性：世界的統計調査(1950-2000年)』

(インストロー/ILO共同プロジェクト)

このILO/インストロー共同研究は、国連婦人の10年の達成を検討・評価する努力の一部である。目的は、80年代の働く女性の状況を婦人の10年の初めの頃と比較して分析することである。

働く女性に関する詳細な情報は今でも非常に限られている。研究そのものが将来埋められるべき情報の空白をあばいている。開発計画は働く女性の要望について時代遅れの概念にもとづいていることが多いので、こうした知識の不足は、経済社会開発にマイナスの影響を及ぼす。働く女性の本当の状況を理解し、その結果もっと適切な政策処方を講じれば、開発の概念と戦略が再調整されると期待できよう。

常に発展しつつある女性の労働力参加を理解するために、研究では次の事を検証している。

- ・ 女性の粗活動率
- ・ 年齢別女性活動率
- ・ 労働力に占める女性の割合
- ・ パートタイム雇用に占める女性の割合
- ・ 主要経済セクター（農業、工業、サービス）別の女性就業者の分布
- ・ 従業上の地位（自営業、雇用者、無給家族従業者）別の女性就業者の分布
- ・ 主な職業上のグループ（専門的職業、技術的職業、行政的・管理的職業、事務的職業、販売営業、サービス、農業、畜産、林業、生産関連職業従業者業）別の女性就業者の分布
- ・ 女性労働者間の賃金格差

研究の結果わかった主な事柄は次の通りである。

- a)新しい労働市場の現況；ますます多くの女性が労働市場に参入している。
- b)家族責任を背負っていても職業を中断せず労働力として残る女性の数が増加している。

- c)パートタイム雇用は男女ともに増えているが、パートタイム就業者の圧倒的多数を占める女性に特に増えている。
- d)失業者の中での女性の割合は不釣り合いに高い。
- e)農業への関わりは10年前に比べて小さくなる一方で、サービスセクターの職業に就く女性が急増し、工業生産に占める女性の割合はいくらか増加している。
- f)大きな進歩にもかかわらず、80年代初めの女性と男性の間の職務分離は、ほぼ世界の全域で10年前と同じに厳しい。
- g)女性はいまだに、非熟練、低賃金、低地位の職業にあり、しばしば仕事の保障がほとんどない。

この世界的な統計分析からわかる雇用と失業のパターンは、社会経済的ないろいろな動向や、国際的、国内的、世帯内の分業を動力的な意味でこえた技術的・科学的な解決を明らかにし、女性の雇用関係問題のこの分析は、マクロ・ミクロ両レベルの問題の厳密な定義的学説や整然とした分類を超えたものである。研究は経済的・社会的現実の姿を明らかにし、女性が不断に変らずに、定義も測定も認識もされない職域で働いていることを映しだしている。

この研究の中にふくまれる統計情報はさらに、世界の経済活動の中で女性が重要な役割を果たしているという認識を実証している。女性は生産に対して周道的ではない重要な役割を分担している。したがって、労働組織と労働条件が女性就業者に影響するだけでなく、女性就業者の状態が生産過程に影響する。だからこそ、生産様式、労働組織、労働時間、家族福利のための社会設備を含めた労働の場の変革が、働く女性の状況改善と生産過程の改良の両方にとって基本的なことなのである。

女性就業者は男性と同じように、失業の経済的、構造的、あるいは人口学的諸原因の影響を受けているが、女性は、その上さらに、女性に対する差別の諸影響の被害を被っている。だが、女性が失業者の中に占める不釣り合いな割合は、多くの家族の経済的福利が全面的あるいは部分的に女性にかかっている世界では、受入れ難いものである。

意思決定過程への女性の参画の不十分もそのひとつである職業的分離は、女

性就業者と男性就業者の間での機会と処遇の平等に対する大きな障害を示している。さらにこの分離は、公正で平等な発展への努力を妨げる。なぜならば、コミュニティー開発の主要な担い手である女性が、その過程を制御する意思決定から除外されている限り、開発は不均衡であり続けるだろうからである。

将来の開発戦略と行動計画を成文化するためには、女性の労働、特に国の統計に十分記録されていないような女性労働の多くの側面をもう一度詳しく調べることが不可欠である。従って、女性の労働を正しく評価するためだけでなく、女性の労働を革新的に定義することをめざして、データの収集、編集、作表、分析の点で入ってくるジェンダーバイアスを排除するためにも、現存の概念は再吟味されなければならない。この報告書は作業が進められるべき4つの主要領域、すなわち、農業生産、経済のインフォーマルセクター、家事労働（household production）、無給家族就業労働、を強調している。

教育者だけでなく各国政府、政府および非政府の組織、開発計画者にこの研究結果を注目させ、そして女性と労働に益するより適切な政策処置を定式化し、実施することを促進するよう、精一杯の努力をしなければならない。

## 女性の役割と状況についての統計および指標に関する

### ECE/インストロー合同会議

ヨーロッパ統計家会議は第32回総会において、1983年6月の第31回総会で採択された、1984/85年にインストローと合同で女性の役割と状況に関する会合を開くという決議を確認した。

そこで、女性の役割と状況についての統計と指標に関するECE/インストロー合同会議が1985年3月11日から14日までジュネーブで開かれた。参加者は、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコスロバキア、フィンランド、フランス、東西ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェイ、スペイン、スウェーデン、トルコ、ユーゴスラビア、国連社会開発研究所(UNRISD)、専門機関としては、国連労働機関(ILO)、食糧農業機構(FAO)、世界保健機関(WHO)、政府間組織としては、ヨーロッパ経済共同体、英連邦事務局(Commonwealth Secretariat)、そして非政府組織として国際女性同盟(Inter-

national Alliance of Women)、国際女性協議会(the International Council of Women)、国際大学婦人協会(International Federation of University Women)であった。

4つの主要議題が討議されたが、それは、1)女性の統計を得るのに使われるデータ源、2)既存の女性に関する統計の分類体系が適切であるかどうか、3)女性に関する統計の概念的および方法論的問題、4)女性に関する統計について最近なされた改善と今後計画される改善について、であった。

会議は、主として各国統計局が作成した23の文書を検討した。インストローは2つの文書を発表した。ひとつは統計分野におけるインストローの活動についてであり、もうひとつは、ECE地域の女性の状況に関する統計と指標の改善に関して国連統計局とインストローが共同で作成した文書である。

女性の統計に関する現存の分類枠が適切であるかどうか、また女性の統計における概念的・方法論的な問題は、次の4つの特定の分野におよんだ。a)家族構成、家族、世帯における女性の地位、b)経済活動、c)女性の収入と世帯収入に対する女性の寄与、d)社会・経済分類と流動性、である。



ECE/インストロー会議(ジュネーブ)



a)の分野については、家族と世帯の定義と分類のバリエーションは、国別にだけでなくひとつの国の中でも、かなりあると参加者は感じた。経済活動については、（たとえば経済活動、無給家族労働（unpaid family work）やその他の無給労働といった）女性の活動の多次元的な性質を反映し測定できる概念と方法を開発するために進行中の研究が重要であると強調された。家庭内（in the home）での女性の労働を経済的・社会的認識するためだけでなく、世帯の福利（household welfare）の概念を広げるためにも、家事労働の貨幣価値を改善することが重要だと強く主張された。

女性の社会的流動性と機会を、男性と比べた統計を開発することが必要であると認められた。会議は、討議された4つの分野における概念と方法を改善するよう、国内、国際両レベルでいっそう研究するべきであるとした。

会議はまた、ヨーロッパ統計家会議でさらに研究する必要がある多くの問題を次のとおり認定した。

- a) 女性の身分や状況に関する情報を引出すために、各国で生活時間を用いてみること
- b) （たとえば婚姻中であるか独身であるかというように）、異なる状況にある女性に対して社会・経済的地位を特定するために開発された方法
- c) 女性の経済活動の測定に関する問題
- d) 男性あるいは女性個人が、ひとつの活動だけでない活動で生活を送る様子を表せる多面的な経済活動概念を開発すること
- e) 女性の失業と不完全雇用を測定するにあたっての問題
- f) 世帯収入に対する女性の寄与を測定する方法
- g) 家事労働（housework）、家庭内の雑事、家庭内での活動（home-based activity）の価値を評価してみること
- h) ライフサイクル研究、コーホート分析、系列別などの縦割りの分析
- i) 社会的流動性の研究
- j) 標本調査での態度と感情についてのデータ収集における問題
- k) センサスやサーベイで使われる（異なるタイプの世帯構成をとりあげる）世帯と家族の定義および分類を改善すること

- l) 社会経済グループの分類
- m) 不平等を測定する方法

こうした努力が重複しないように、この分野での研究は今後、インストローや国連統計局などの国際機関が行っている同様の研究と密接に協力していくべきでことが会議では示された。

十分な進展をみた議題について、1988/89年にインストローと共同で会合を開くこと、その前に非公式会合を1987年にとりあえず開くことが提案された。

### 開発における女性についての改良された統計ならびに指標：

#### インストロー/ECA準地域訓練セミナー

女性の活動と要求についてのデータを収集、分析、評価する方法は、開発計画が女性の潜在力と要求を効果的に引出すかどうかという点で重要な役割を果たす。それゆえ、この問題に対して統計の作成者と利用者が敏感になり協力することが不可欠なのである。

このような考えに基づいて、インストローはアフリカ経済委員会(ECA)ならびに国連統計局(UNSO)と共同で、南アフリカと東アフリカ準地域での統計の作成者と利用者のための訓練セミナーを、女性の状況についての統計ならびに指標に関する主要研究プログラムのフォローアップとして、開いた。セミナーはジンバブエのハラレで1985年4月29日～5月7日に開催された。

ジンバブエの地域開発・女性問題相である、チュレ=ロパ・ノンゴ閣下が開会宣言をした。

開会式演説はインストロー代表のメルバ・タラウェイ研究訓練主任のほか、UNDP副総裁、UNFPA(国連人口基金)の臨時議長、ECA代表が行った。

会合には、各種国連機関の代表以外に15カ国から45名が参加した。

会合の協議事項は、人口と人口統計学的指標、教育、雇用、経済活動、健康と栄養、女性の組織等の指標を計算し表示するための基本方針に及んだ。会合の目的は次のとおりである：

- a) 女性に関する統計と指標の出所と応用について、統計の作成者と利用

者の間の対話を促進すること

- b) 参加者に以下のようなことに馴染んでもらうこと：
- ・女性についてのデータ源
  - ・国の統計局の資源
  - ・開発における女性についての政策、計画、プログラムを計画したり監視したり評価したりするのに有用な各種の指標ならびに計算と表示の方法
  - ・これらの指標の当面の、あるいは潜在的な応用
  - ・利用者の組織
- c) こうした指標の代表的な一団を計算したり表示したりする経験を参加者に積ませること
- d) 女性のデータを国の統計系列に取り込み、またこのようなデータを政策、プログラム策定、監視、評価に利用するためのより良い方法が研究されているが、それに貢献すること

会合では、センサス、世帯調査、行政登録という3つの情報源について深く討議した。そこではそれぞれの有利な点、不利な点がわかった。この3つの情報源は、互いに補完するという点でも、いろいろな統計上の要望を補う点でも、重要だとされた。

センサスは、おおくのアフリカ諸国でこれまでに2つ、ときに3つさえ実施したように、いまだに主要な情報源であるので、センサスに新しい次元を導入して、最も生産的かつ有効に利用するべきである。女性団体は積極的になって、自分たちがセンサスからなにを求めているのかを示し、センサスが企画されるときに、疑問を差しはさんで変えていくべきである。

世帯主の理解と解釈の違いに関連して、世帯調査の問題が強調された。つまり、だれが世帯主であると考えられるかが今も大きな問題なのである。もうひとつの問題は、経済的領域のもので、農業における季節的就業と、人々の労働可能性に基づいて、従って無給家族従業者を数えないことになる失業者の測定の問題である。産業統計もまた問題のある領域である。雇用者の性別データを集めるため、産業統計でも新しいイニシアチブをとることが必要である。

これらの問題を克服するには、女性の活動を算定するため、政府がこの調査に女性の要素を組み込むべきであると指摘された。

もうひとつ挙げられたのは、統計当局の分散型対集中型の問題であった。分散型は重要であり便利であるが、統計当局の規模が小さいことによって、その作業様式や、収集、処理、分析、評価というような分野すべての要求に答える方に影響が出るかもしれない。一方、集中型機関では通常、分散型の小さい局よりも強い、意のままにできる手段を多くもつが、情報へのアクセスが難しくなる。

この問題を克服する方法として、統計局の要望に沿って女性についての情報を収集する任務を負う職員を指名する際に、女性、NGO、労働組合、官公庁などをより多く取り入れていった国もいくつかある。

もうひとつ問題にされたことは、時として真実を表さない指標の解釈についてである。

人口データの分野では、女性を人口の中での社会・経済的状況、つまり移動難民密度、都市と農村、高い若年人口、人口内の文化の多様性、人口分布、移民といったものと切り離して考えることはできないことが示された。

都市の人口増加は移民によるものである。都市化と都市の成長があまりに急速に起った結果である。都市に移入する女性の数と割合を知ることは、都市における女性の就業状態に関する問題を提起するので、非常に重要である。移入が家族関係に与える影響のみならず、施設の問題もある。

アフリカでは急速な都市化を止める手段として、ふるさとに残ることを奨励する新しい法律を導入した国もあるという発表があった。

教育の分野では、情報、特に中途退学者についての情報は、性別区分に基づいて収集すべきことが強調された。生涯教育ならびに市場の雇用機会についての情報も利用できるようにするべきである。

統計についての初歩的知識は、学校教育や大学のカリキュラムに導入されるべきである。

経済活動の分野では、インフォーマルセクターにおける女性の経済活動に関して統計のギャップが存在することが示された。したがって、インフォーマルセクターでの女性の経済活動について情報を収集する必要性が高まっているこ

とが強調された。

このような情報を収集するためには、データ収集技術を開発し、この分野での訓練のために奨学金を供与し、また女性のための国家機関を強化する必要がある。

政府の各部局・機関の間で情報収集について協力することが不可欠である。統計の利用者と作成者の間でもっと話し合うことも必要である。さらに、国際的、地域的なシステムないし基準、またはその両方に従った準地域に関する統計を出版するようにとの要望がある。

会合の結論としては、態度を測定するための小規模調査を実施すること、センサス、調査などによって収集された情報を普及させること、分散型の統計システムを確立すること、登録記録を改善すること、そして基金と優秀な人材を通じて統計当局を強化することの必要性が強調された。

参加者は、UNSOやインストローやECAが、国内セミナーの開催や国内での訓練担当者への奨励金の支給によって、統計分野の職員の訓練を援助する可能性を質問した。最終的には、セミナーで発表された考え方や視点は、ECA が2年に1回開くアフリカ企画者・統計家行政会議（African Ministerial Conference of Planners and Statisticians）に提出するよう提案された。この会議はレベルの高い権威あるものであるから、国家レベルで行われる必要なステップを推し進めるであろう。

### サントドミンゴにて

「ドミニカの女性に関する社会指標」についての合同ワークショップが、1985年5月6日～5月10日の間、ドミニカ共和国の女性の地位向上局（General Office on the Advancement of Women）と統計局、インストローによってインストロー本部で開かれた。

このワークショップの目的は、a)ジェンダー別の統計の収集と作成に使われている現存の方法論を検討する b)国連勧告に従って、現存の概念を改善するかあるいは新しい概念を作り出す、ことであった。

開会演説はインストロー所長のデュナ・パステイツィ・フェレンチック、統

いてドミニカ共和国女性政策推進局長のマルタ・オルガ・ガルシアによって行われ、インストロー社会問題担当員、マリー・パウロ・アリスティは、インストローが行った世界の女性の状況に関する統計の改善の仕事を紹介した。

このワークショップには多くの政府組織、非政府女性組織が参加した。

## 2 インストロー：女性についての統計的研究

Statistical Research on Women

INSTRAW NEWS No.14 Spring 1990

[訳者：1990年のインストロー創設10周年に際しての特集号でインストローの10年をふりかえっている。次の書出しの下に、女性についての統計的研究その他の回顧がある。ここでは、統計的研究についてだけ訳出する]

### INSTRAW 10年を経て：女性と男性の新しい共同関係

女性と開発という、本来的に複雑で多様な新分野においては、文化を越えた協同アプローチが必要である。研究、訓練、情報は、インストローの作業プログラムにおける相互関連的かつ相互支持的な3つの柱である。このプログラムは、10年を通じてずっとその一貫性を維持しつつ、次の5つのプログラム「群」をめぐって編成される枠組みへと発展してきた。すなわち、女性についての統計と指標ならびにデータ、政策策定のための研究、セクター（分野）の問題、女性と開発についての訓練ならびに訓練用資料の制作、それにネットワーク形成の5群である。ほとんどの研究プログラムには訓練の要素があり、またほとんどの訓練プログラムは研究の結果を取入れている（インストローの中期計画の補足を参照のこと）。

### 女性についての統計的研究

女性についての統計は、当初よりインストローの作業プログラムの要であった。後に国連経済社会理事会および総会に反映されたメキシコシティでの1975年婦人会議の勧告では、女性が状況を改善させ、開発政策を作りかえていく上で、適切な統計ならびにデータを収集することが果たす中枢的な役割が認められた。このことは、統計についてのインストローの研究および訓練が、女性の生活に直接関係する新しい戦略に徐々に映し出されるとともに、繰り返し証明されている。

統計についてのインストローの初期の作業は、経済的社会的開発のあらゆる局面における女性の役割に特に関連させながら、女性に関する指標ならびに関連基礎統計の利用可能性を国内、国際両レベルでいかに向上させ、利用を促進するかに集中していた。それには、国際的レベルでの統計および指標の選択、詳述、編集、分析を行うこと、各国が統計の収集、普及、分析のためのプログラムを開発し実践するのを援助すること、そして信頼性があり、速報性をもち、包括的な統計と指標を入手するのに必要な概念と手段を研究し開発することなどがある。

全体として、インストローでの女性に関連した統計と指標という分野での仕事は、測定、雇用、無給家族従業者の地位、調査時期、および農村部の活動などの問題を含んだ女性の経済活動、とりわけインフォーマルセクターにおける経済活動を再定義する必要性を指摘している。また、研究と訓練が、現行の概念的枠組み、分類、定義を立て直すことに集中すべきであり、女性の状況についての統計ならびに指標をより良く編集し分析することに貢献するべきであることを示している。この仕事は、国連統計局との極めて貴重な継続的協同作業と、国際労働機関（ILO）、地域委員会等の国連機関からの援助を得て行われた。

1982年に インストローは、統計についての最初の活動のひとつを終えて、国別、地域別、国際レベルでの女性についての統計の作成者および利用者に対する技術的ガイドとなるよう企画された2つの報告書を作成し、出版した。ひとつは、『女性の状況についての社会的指標の編集』（*Compiling Social Indicators on the Situation of Women*）についてのものであり、現行の概念、データ源や、指標の利用に対し、経済活動と労働力参加、識字と教育、世帯と家族までを包括して最新の見地から再検討したものであった。

2つめの出版物は、『女性の状況についての統計ならびに指標のための概念と手法の改善』（*Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Women*）であり、女性の状況についてより長期間にわたってより大きい関連性を持つデータを作成する上での概念的また方法論的な問題を分析した。勧告は、収入や地位の格差と流動性についてだけでなく、ここまでに述べたすべての分野についてもなされた。



これら文書は広く配布されて、国連機関によって統計訓練の研修会に利用されており、他の文書も国連統計局との緊密な協力によって作成された。

女性の地位を修正し、経済的および社会的開発における女性の役割を文書化することに長年関わってきたという点で、インストローは、適切なデータによって必要な客観的実証根拠を作る着実な基盤を築くために懸命の作業をしている。

『経済活動における女性：世界的統計調査（1950-2000年）』（*Women in Economic Activity: A Global Statistical Survey(1950-2000)*）はその目的にそったインストローの最初の大きな労作だった。それは1985年にILOと共同出版されているが、国別だけでなく地理的区分や経済的地域別によって女性の経済活動を調査しており、政策策定者ならびに一般国民のためにこの主題についての最新の情報とデータを一冊で示すことをめざした第一歩という意味がある。この本はナイロビ会議で配布され、今でもその分野における道標とされている。

インストローの統計作業は精力的に進んだ。女性の役割と状況に関する統計ならびに指標についての会議が、1985年3月にジュネーブでヨーロッパ経済委員会(ECE)との共催で開かれ、インストローの将来の作業に向けての基礎を作った。参加者は、一層の作業を必要とする分野と問題点として、それぞれ異なる状況で生活している女性に対して社会・経済的地位を同定する方法、個人が如何にしてひとつ以上の活動に時間をさいているかを記述する多面的な経済活動概念の開発、社会的流動性(social mobility)の研究、サンプル調査を通じて態度と感情をあらわすデータを集める際の諸問題、刑事犯罪と暴力の犠牲者の統計、それにとりわけ社会における女性の力と影響力、などを確認した。

インストローはまた、世帯、ジェンダー、年齢に関する国連大学の長期研究プロジェクトにも参加した。このプロジェクトは研究の新しい流れを反映し、社会的にも経済的にもその立場が変りつつある女性について広い視座を取り入れる複数の研究手段を用いた。

## インフォーマルセクターの問題での前進

統計研究は、1986年10月にサントドミンゴで開かれた専門家グループ会議の後、非常に進んだ。この会議で インストローは、現在進行している国連の国民経済計算(SNA: System of National Accounts)とそれに関連する国際分類の修正作業を検討するよう指示された。インストローはまた4つの基本的論文を作成した。その論題は次の通りである。

- ・ 経済のインフォーマルセクターへの女性の参加の測定と評価
- ・ 世帯調査を用いた女性の統計と指標の改善
- ・ ラテンアメリカにおけるインフォーマルセクターの女性について：方法論的問題
- ・ 女性の経済的状況についての統計ならびに指標の開発

これらの報告書について専門家グループは、統計と指標を改善してWIDに適用するうえで「極めて大きな技術的貢献」をしたと結論した。「測定の概念が、女性の経済的貢献を含む点での可能性をテストするほど深く分析されたことは、いまだかつてなかった」とも言った。とくに開発途上国で著しい、女性が通常受け持つ活動とそれが開発にもたらす貢献は、見過ごされたり、それが見えなくなるような広い区分にまとめられてしまったり、偏りのある取り扱いを受けたりしていることを、専門家グループは発見した。インストローは従って、国際標準職業分類(ISCO:International Standard Classification of Occupation)、国際標準産業分類(ISIC:the Standard Industrial Classification of All Economic Activities)、それに世帯や一般政府のような経済セクター、について勧告すべき変更に関する見解を示す論文を用意し始めた。

さらに、インストローの1986年の活動報告を検討した国連総会は、「インストローの活動の重要性と作業範囲」に対し、特に女性についての統計ならびに指標と、WID政策の分析、計画、プログラミングの定式化のための訓練に関して満足を示した。

これに力付けられてインストローは1987年、国際分類の改訂に寄与することのみならず、女性の役割と寄与を明らかにすることに特に力を注ぐ活動プログラムをインフォーマルセクターへも拡大した(INSTRAW NEWS No.12 参照)。1987年5月、インストローはヨーロッパ経済委員会(ECE)がジュネーブで開催した、「世帯収入に対する女性の寄与の測定について：概念的ならびに方法論

的問題」という女性の統計に関する非公式会合で、ひとつの論文を発表した。会合では、インフォーマルセクターについて、女性の活動を測定するにあたってのそのセクターの重要性から概念的に明確化する必要性と、家事労働を金銭的に推定評価する必要性とが繰り返し語られた。このような金銭評価は、SNAの既存の分け方を修正しなくても「拡張した国民総生産」の概念に含めることもできよう。

「インフォーマルセクターでの生産と管理におけるアフリカ女性の役割の改善」についての新しいプロジェクトが、国連組織との協力によって1988年に実施された(本文25ページ参照)。プロジェクトに関わる4つの国、ガンビア、ザンビア、ブルキナファソ、コンゴが選ばれ、初回のデータ収集の特別研究班になった。最終的にこのプロジェクトは、技術手引書といえる、それぞれの国でのデータ編集の試験的プロジェクトについて報告を出し、2つの地域と4つの国でのワークショップを開くことになろう。

もうひとつのインストローの研究プロジェクトである、高齢女性の統計データベースは、1987年に最初に手がつけられ、その翌年、「ラテン・アメリカとカリブの高齢女性のための諮問グループ会議：現状と政策との関係」(ワシントン、1988年)向けの主要な情報源として用いられた。インストローはこの会合のために2つの論文を作成した。ひとつはラテン・アメリカの成年女性についてデータベースでの主な調査結果をまとめてあり、もうひとつは高齢女性のデータ収集と研究における問題についての論文であった。後者は、高齢女性についての刷新的なデータ収集のためには新しい概念の枠組みが必要であることを示した。

インストローの統計研究は継続され、1989年には最優先事項になって幅広い国際的認知を得た。インストローはSNAの改訂に関する論文を提出し、9つの開発途上国でインフォーマルセクターのケーススタディの最初の分析結果を発表し、国連の主要出版物3点の情報源となった。その他、1989年にインストローが行った統計関係の主な活動には、次のものがある。

- ・女性の統計に関する ECE/INSTRAW 合同会議へむけて、女性の仕事の測定についての技術的論文の作成(ジュネーブ、11月、本文26ページ参照)
- ・アフリカのインフォーマルセクターにおける女性についての特別研究班な

らびにケーススタディの継続

- ・ラテン・アメリカの高齢女性についての統計データベースに関する作業の発表

### 統計訓練は研究結果を実践に移す

統計についてのインストローの訓練作業は、女性の活動についてのその分析と再定義によることが大きい。合計すると、インストローはその統計プログラムの一部分として、長年にわたって数多くの訓練用ワークショップを運営してきた。共通の目的は、データ作成者と使用者の間で、その国や地域の特殊性を考慮に入れた話し合いを開始し、強化することであった。ワークショップは参加型手法に従った。国連統計局との協力により、その研究に基づいた適当な訓練資料やマニュアルも作成した。

1985年にはふたつの準地域セミナーが開かれた。1回目（ハラレ、5～6月）は、女性の活動についてのデータの収集、分析ならびに評価を行う現在の方法の問題点に触れ、解決法を提案した。2回目（モンテビデオ、6月）は、労働市場における女性の状況の世帯調査を通じた統計的分析に焦点を当て、新しい手法の必要性を強調した。

また1985年にはドミニカ共和国（5月）で、インストローの訓練方法論を試すために一週間の国内ワークショップが開かれた。訓練資料は統計についてのインストローの初期の出版物から引出し、その訓練技術を伝統的なものから革新的なものに変える道を開いた。

1986年には3つのワークショップが実施された。ひとつは準地域レベルでカリブ地域（CARICOM: Caribbean Community）の国々のために開かれたもので、そのCARICOMにおけるこのタイプのワークショップとしては最初のものであり、あとの2つはナイジェリアとパキスタン（それぞれ8月と11月）で、一国レベルで行われた。一般的に、参加者は、女性の労働力参加、特に農業部門と家庭経済での参加に大きく注目すべきであることを主張した。また性と未婚婚別による変数の組合せ表示と区分の重要性を強調した。女性の日常生活、とりわけこれまで伝統と習慣によって隠されていた面については、いっそう焦点を当て

る必要があった。国家統計局のスタッフはまた、女性についてのデータに一般的である数の不足とバイアスを認識し、それが如何に開発の計画とプログラミングに影響したかを知るよう訓練されるべきである。

### ワークショップは性別区分と生活時間調査を強調

インストローは統計についての研究を有効な訓練プログラムに変換することを続け、1987年には2つの国内ワークショップを開いた。インドネシアから寄せられた勧告（10月）は、データの収集、処理および分析の性による区分と、女性の家事労働やボランティア活動を主題とするマイクロ研究とについて、統計の利用者と作成者の定期的な会合を要望するものだった。スリランカ（10月）での参加者は、ジェンダーのバイアスがかかった用語や、自由交易地域の労働者、家庭内使用人、家庭を仕事場にする女性就業者（home-based women workers）、ひとり親などの領域をふくめて行われる小規模調査に対しては、修正が行われるべきだと付け加えた。また、女性の問題に関わるすべての組織が、そのプログラムの企画、実行、普及にあたって、利用できるジェンダーについて明確なデータと指標をすべて使う点で敏感であるべきことを勧告した。

さらに2つの訓練用国内ワークショップとひとつの準地域ワークショップがそれぞれ、中国、ギリシャ、コスタリカで1988年に開かれた。一番頻繁に共感された勧告は、概念、定義、方法論を改訂することの必要性、来るべき人口調査の質問項目からジェンダーバイアスを取り除くこと、そして統計利用者と作成者との話し合いを推し進めることなどであった。

北京（6月）では参加者は、婚姻上、健康と栄養状態上の地位、死亡率と死因、教育レベル、政治参画、労働保護というより質的な指標を取り入れるよう主張した。アテネのワークショップ（10月）では、データ収集、家庭を仕事場にする労働者、単身女性世帯、女性移民労働者、化学・薬学・製靴皮革工業における不平等賃金労働者などのグループに注目してデータを集めることを優先するよう要望された。一方サンノゼ（12月）では、データ利用者が、移住の状況と原因、よりすぐれたライフサイクルと生活時間の調査の仕上げに注目するべきだと要求した。

1989年にはまた別の統計についての国内訓練用ワークショップが、セネガル（6月）、インド（7月）、エクアドル（11-12月）で開かれた。共通の論題には、データ収集の方法と概念の適切さ、データの出所と要求の確認、女性と開発についての統計と指標を編集し利用するための戦略などがあった。

セネガルでは参加者が、女性のデータを集中して分析する政府統計部局を作り、終局的には女性のデータバンクを設立するよう勧告した。また、洋裁業や自作農のようなインフォーマルセクター分野での特別調査をも要望した。インドでは、参加者は、とりわけ女性・若年層の地位についての新しい統計を創出することを委ねられた研究があるべきだと言い、世帯を経済単位として反映するよう世帯の概念を変えるべきだと主張した。エクアドルのワークショップは、インフォーマルセクターで働く女性の割合を判定し、特に家事労働を通じての女性の社会への貢献を評価する変数を提案した。

### 3 女性の仕事を 統計で見えるようにする

Interview: The Statistical Visibility of Women's Work

INSTRAW NEWS No.9 Winter 1987

過去15年間にわたり、ILOの人口学・経済学の専門家であるリチャード・アンカーは開発途上国における女性の労働について、さまざまな側面から研究をしてきた。目的は、女性の経済活動がもっとよく統計に表れるように(increasing statistical visibility)することである。1987年8月、インストローの開発における女性(WID)連続講演シリーズで、アンカーは第三世界における女性と就業について、現存の情報の曖昧さとその問題点を語った。

女性が行う経済活動の大部分はセンサスや調査に過小にしか報告されていないため、女性の労働力参加に関するデータは、不正確であるとか、ともかく不完全であると一般には認識されている。この問題は、途上国であると先進国であるとを問わず深刻である。女性の労働と収入が一家の生計に不可欠である時でさえ、女性は「経済的に活動していない」と表現されることが多い。

「女性の労働力データを改善することは、女性の経済的寄与を統計に正しく反映することにほかならない」とリチャード・アンカーは言う。アンカーは、ジュネーヴのILOの雇用と開発部門のスタッフメンバーである。

アンカー氏がこれまで主にとりくんできたのは、開発途上国における女性の就業について、その測定を改善するための研究である。彼は、研究、論文、フィールドワークのいずれにも貢献している。

最近ILOの助成によってインドとエジプトで行われた2つのフィールド調査で、アンカーは統計的に同一な男性回答者と女性回答者、男性質問者と女性質問者をサンプルとし、キーワードと活動タイプについての調査票を用いて、質問のタイプ、質問者のタイプ、回答者のタイプ、労働力活動の定義、によって回答された女性の活動率がどう変わるかを観測した。まったく新しい方法と調査票を用いたことで、女性の活動率は飛躍的にあがった。

女性の労働が不正確であったり過小に報告されるのは、現行の労働力の定義

に起因する。アンカー氏はこの定義を「基本的に適切である」としながら、改良の余地があると考えている。たとえば、薪集めや水くみの活動が、遠くまで行ったり、世帯内の自給的活動に要する時間に変化が表れるほど行われる場合には、活動に含めることなどである。「この2つの例はふつうほとんど女性だけに関係するものである」とアンカーは言う。

## 世帯での効率

家事労働 (household work) を経済活動に含めるかどうかという問題は、1970年代からずっと激しい議論のあるところである。アンカー氏は、このような評価の積極的結果として、家事担当者 (housemaker) は年金や社会保障をうける資格があると言う。開発途上国では、「政策決定者が家事労働 (household tasks) の効率を考えるだろう。家事労働は極端に生産性が低く、粉をひいてたたいたり、燃料や水を採取するながくつらい作業である。これらの活動は、製粉機や簡単な機械を使えば瞬時に極度の低コストで行われうる」。

もし家庭内の活動が生産的な労働として評価されるなら、新しい技術をとりに、少々の資本を投下して、家庭 (home) をもっと効率的にし、危険の少ない方法ではやく仕事ができるようにしたいと、政策決定者は願うだろうとアンカー氏は言う。

問題は家事に対する「市場の等価」を見つけることであると氏はつけ加えている。たとえばインドの多くの村では子もりがないのが普通なので、育児に市場等価を与えることは非常に難しい。アンカー氏は、使われた時間を測定するよりも「生産された産物」によって評価するほうがよいとしている。

労働力の定義を変えること、あるいは家事を生産的な労働に入れることに対して、いつも出てくるひとつの反対論は、だれでもがこのカテゴリーに入るとみなされうるし、経済的に活動していることになる、というものである。女性には失業者はいなくなる。ついには労働力という概念が意味をなさなくなるというのである。

この議論に対するアンカー氏の答えは、概念が実際にいくぶんか価値のないものになる一方、「その意味ある部分では人々が何をしているかがわかる。た



たとえば第三世界の大部分の農村地帯では、基本的にはだれもが経済的財を生産しているの、労働力に入っているかいないかの区分は現実あまり意味のあることではない」というものである。

「開発における女性」についての研究のうち、現在中心的な問題は何かときかれると、アンカー氏はまず、インフォーマルセクターをあげる。近代的セクターは人口増加にともなう労働力の拡大を吸収できないのだから、女性も男性もますます多くの人がインフォーマルセクターの活動によって生計をたてることになる。そしてかれらは多くの場合に標準以下の労働条件下で活動している。女性は、小商売や露店商などの形でインフォーマルセクターに過剰に存在する。「インフォーマルセクターの女性についてもっとわかれば、政府はもっと憂えてなにかするだろう」と言う。

アンカー氏は、収入源をつくるプロジェクトについての新しいビジョンに言及している。このプロジェクトは小さすぎて、ほとんどの人にいきわたらないし、高くつきすぎて実行できないと今はみられているものである。「適切な情報と原料を以て女性に手を差し伸べることと、計画作成者に対して女性を忘れないように、とくに融資、農業、拡張サービス、法的障害、技術訓練において忘れないように働きかけること、が望ましい」と氏はいう。

しかし今日もっとも重要な問題は、女性を女性として分離したプロジェクトや女性担当部局を通じてではなく、資源の配分と部門別の計画によって、女性の状況を改善することである、とアンカー氏は言っている。「以前は、女性を開発にとりこまなければいけないと考えられていた。今私たちは、女性がいつでも開発に組込まれてきたことを知っている。女性は今日、切り離された要素ではなく、開発の主流をなすものだと考えられている。」

## 4 評議員会が統計プログラムを評価

INSTRAW Board Evaluates Statistical Programme

INSTRAW News No.12 Summer 1989

女性の状況に特異な統計と指標の開発は、1975年に、メキシコの世界婦人会議で採択された国際婦人年の目標へ向けての世界行動計画において、地球レベルでははじめて勧告されたものである。

この勧告に引続いてすぐ、国連システムにおいて数々の決議や決定がなされた。国連統計局（UNSO）と密接な協力関係にあるインストローは研究・訓練プログラムを立案し、これは1982年に第2回評議員会で承認された。中心となる行動の範囲は、女性に関する基本的な統計、とくに経済的・社会発展のさまざまな面において女性の役割を考慮した統計の利用可能性を改善することであった。この行動にはいくつかの次元がある。つまり、国際的レベルにおける統計系列と指標の選択、特定、編集および分析；女性の状況に関する統計と指標を収集、配布、分析するプログラムを開発し実行しようとしている国々を援助すること；国別のレベルで女性の状況に関する信頼性のある、速報性をもちかつ包括的な統計を入手するための概念と方法を開発すること、である。

これに関連してインストローが最初に着手した活動は、英語、フランス語、アラビア語で書かれた、「女性の状況に関する社会指標の編集」と「女性の状況に関する概念と方法の改善」というふたつの報告書の出版であった。これらの報告書は、国別、地域別、国際的レベルでの女性の統計の作成者ならびに利用者にとって、技術的な指導書となっている

1985年に、インストローは国際労働機関（ILO）と共同で、女性の経済活動を地理的、経済的地域別の他国別に地球規模で統計調査したものを出版した。

### 訓練

この広い展望にたって、11のワークショップが催された。内訳は、ラテン・アメリカの地域レベルが1つ、南東アフリカ、中央アメリカ、カリブ諸国の準

地域レベルで3つ、それにドミニカ共和国、ナイジェリア、パキスタン、インドネシア、スリランカ、中国、ギリシャの国別レベルで7つであった。これらワークショップへの参加者数は全部で540人だった。どのワークショップにも、統計の利用者と作成者が出席し、その中には、国の統計部局や関連の政府組織の代表者、開発計画策定者やその他開発担当部局の職員、その他、研究センターや大学、女性グループ等の非政府組織の代表がいた。

これらのワークショップは、女性のデータとして必要なものを検討し、計画に直接関係するいろいろな概念が利用可能であるか、適切であるかを評価した。データ収集訓練においてこれからの問題としてより注目される優先度の高い領域は、労働力、とくに農業部門の労働力への、および家庭経済での生産（production in the household production）への女性の参加であった。

ワークショップでの議論のなかではひとつの共通理解がある。それは、人口学者、経済学者、統計家など国の統計部局の統計作成者が、女性に関するデータが全般的に不足しておりまた偏りを持っていること、およびこのことが開発の計画やプログラムに対してもつ意味とを認識するよう新しい方向づけが必要があるというものである。全体として、利用者もまた統計部局の活動を、とくに、データの収集、整理と制表、指標の開発とその意味づけの過程において、方向付けする必要がある。

国別の訓練ワークショップの報告は、インストローで出版することになっている。1985年にジンバブエのハラレで開かれた南東アフリカの準地域レベルのワークショップの報告書は、国連の出版物として採用され、英語、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語で出版された。これは、開発における女性についての統計の作成者および利用者の訓練マニュアルになっている。

## 研究

インストローの研究のうち、もうひとつの重要な領域は、女性の経済活動の分析と再定義である。インストローは国連統計局（UNSO）と共同で、適切なデータにもとづいて、必要で客観的な実証資料を作成するための確実な土台づくりを開始した。その主な目的は、女性の位置の不平等を是正し、経済的・社会

発展における女性の寄与を記録し、なぜ既存の数値情報が必要な基準を満たしていないのかを分析することである。

社会的・経済的現象の適切な測定は、とくにそれが新しい見方でそれら現象を見るものであれば、過去の感情的態度や慣行を打ち切ることになる。このことは、定義、方法論、心理学、運用などをふくむ多くの問題を解決するためであるから、骨身を惜しまない準備と、一致協力した持続的な行動を必要とする。

1985年にインストローは、女性の労働を評価し、インフォーマルセクターにおける女性の参加と生産を数量化する時にぶつかる問題点を明らかにする研究活動を行った。主要論文のひとつは国連出版販売物として出され、1986年10月にインストローと国連統計局がラテンアメリカ・カリブ諸国経済委員会(ECLAC)と共催した会議、「女性の収入およびインフォーマルセクターにおける女性の参加と生産の測定についての専門家グループ会議」で参考文献として使用されている。

インストローの最近の活動としては、1988-89年に統計と指標の分野で先駆的なプログラムを拡大して継続した。その目的は、進行中のSNAと国際分類基準の改訂作業に関与して、女性の経済的参加と寄与を適切に反映するものにするのであった。女性に関するデータの収集と分析を改善するのに必要な方法論的アプローチと概念分析の双方、またそうした統計の作成者と利用者を訓練することに重点がおかれた。この研究の主要な結果は報告書に盛り込まれ、女性の労働についてのデータ収集と分類に関して現在あるギャップに気付いてもらうために主な意思決定機関へ提示された。すべての報告書は順調に受入れられ、国連統計委員会、SNA改訂専門家グループ、労働統計家会議等の専門的機関の業務に活かされている。

インストローはまた、高齢女性に関するデータベースやアフリカの特定の国におけるその研究方法の実験等、女性についての統計に関連するその他の活動にも関与している。アフリカ経済委員会とインストローがUNDPの資金を受けて現在行っているプロジェクトの結果は、経済のインフォーマルセクターにおける女性の活動に光を当てたものになり、データ収集、編集、分析の方法論とマニュアルとなるであろう。

この長期間プロジェクトにおいてインストローが行ってきた活動のみちのりは、ブロックを積むようなアプローチであり、この作業が国連の総会や経済社会理事会をふくむさまざまな立法機関や意思決定機関で支持されたことは、インストローの活動の方向が、世界規模で女性の状況を表す統計と指標を改善することに寄与することを確証した。

## 5 家事労働：国際標準職業分類に 含めるべき理由とその方法

Household Work: why and how it should be included in the  
International Standard Classification of Occupation

INSTRAW NEWS No.11 Winter 1988

分類は、統計作成においてひとつの戦略的機能を果たす。感度の良い分類は、そうした分類をしなければ隠れてしまっている事実を明るみに出すことができ、伝統的なカテゴリーには表れないことの多い女性の経済活動に関する情報を収集する時には特に重要である。インストローと国連統計局による最近の論文注<sup>1)</sup>は、目下進行中の国際標準職業分類（ISCO）改訂案の主要点について述べている。以下の抜粋は、分類に家事（household chores）を含める問題に焦点をあてたものである。

注）論文「3カ国における職業と産業分類の経験の検討と、女性の問題への展望からみた1987年の国際標準職業分類改訂案についてのコメント」（Review of occupation and industry classification experience in three countries and comments on the 1987 proposed revision of the International Standard Classification of Occupations from the perspective of women's concerns）からの抜粋。このコメントと研究は、第14回国際労働統計家会議（1987年11月、ジュネーブ）に提出するようインストローと国連統計局から依頼されたものである。この引用した論文は顧問の Lourdes Urdaneta de Ferran博士が書いた。詳細については、40ページを参照のこと。

国際標準職業分類（ISCO）の改訂を論じる時には、次の2つのことを忘れてはならない。まず分類とは、統計系列がよってたつ土台なので重要だということ。次に、分類はそれが作られた時点での社会についての認識を反映しているので、後になって新しい領域やカテゴリーを取り入れることは難しい（・・・）と

いうこと、である。

女性の経済生活への参加ということの特殊な性質を明らかにするには、新しい小区分、特別な分類と定義が見つけれなければならない。実際にはこれは、見た目よりずっと複雑である。というのは、それは非常に多くのいろいろな影響（社会的、歴史的、文化的、伝統的影響のすべてあるいはそのいずれか）が考慮されてはじめて、生産における女性の地位が理解されるからである。

同じような要因がある程度は男性労働のパターンにも影響を及ぼす、というのは本当である。違いは、過去の、また今日行われている研究や調査、測定でさえ、ジェンダーを無視した（ジェンダー・ブラインドな）見地に立って、女性に関わる問題を見過ごしてきたことである。この不均衡を正すには、労働力における女性の独特な役割に焦点を合わせる必要がある。これは次に、現在の統計分類の体系を拡大し、他の分類とクロスした分類や他の分類と一緒に使用することを可能にする標準を設定する必要性を示すものである。

### 主に女性の仕事

1986年にジュネーブで開かれた円卓会議で提案されたISCO改訂草案の言葉でいうと、改訂は、「可能な限り、先進国だけでなく開発途上国における職業の現況も表すべきであり、今後起るであろう変化のみならず、前回の改訂からの20年間にわたる技術発展の結果もたらされた職業構造の変化にも適応するように企図されたものであるべき・・・」である。

考えなければならないひとつの重要な課題は、主に女性の仕事となったままの職業、つまり家庭内で行われる仕事の分類である・・・。ここではこの仕事は、家政婦やその他類似の有給の職業と明確にわけるために、世帯内職業（household occupation）といおう。家事労働（household work）は、産業労働力の戦略的予備軍であるばかりでなく国の社会構造の基本的要素でもあるので、経済全体が機能するために重要なだけでなく、数の上からいっても圧倒的に重要なものである。これらすべての理由により、この職業はISCOに含められるべきである。

原則として家事労働を分類に入れる必要性を認めてからも、実際的な難しさ

はたくさん残っている。ひとつは、利用者の要求に応え、かつ統計学者の将来に無理をかけない方法でこの家庭内の活動の範囲を決めるにはどうしたらよいかということである。主として女性に関するとはいえ、この分類が女性だけに限られないことははっきりしているだろう。また、このカテゴリー（部類）に対する年齢制限は他の全カテゴリーに対するものと同じであるべきである。幼児や老人が頻繁にこの職業の労働をするのであるから、違う年齢区分が出されるのは疑いない。

### いつ、どのようにして、そしてどのくらいの時間か

範囲の限定は、こうした家庭内活動が行われる特別な状況を反映したものであるべきである。たとえば、有給の雇用と自営業は、その人が調査期間中に少なくとも1時間は仕事と言える「なんらかの作業」をしたという事実によって定義される。家事担当者(home makers)に対しては、フルタイムで家事労働をしたというのが良い基準になるだろう。

これでは、フルタイムより少ない家事労働をどうするかという問題には答えないままである。その人物が有給の雇用労働（あるいは市場に結びついた自営業）をしているために家事労働がフルタイムより少ないのであれば、（現在の定義の）活動は（現在の定義の）非活動に優先するという規則を適用することで解決する。新しい分類の枠組みの中では、経済活動人口に参加していることが、「拡大した経済活動人口」に参加していることより優先し、また拡大人口は非活動人口に優先する。しかしながらこれは、実際の状況を反映しない純粹に形式的な解決である。こうした状況は、「二次的職業」に関する質問が人口センサスやサーベイに含まれてはじめて明らかになるからである。

このカテゴリーに含まれる資格として必要とされる最少労働時間数は、協議の上で決めるべきである。最も決めにくいケースは、家事労働が家庭内で行われるその他の経済活動、たとえば家の中や近くでじゅうたんを織ったり農業生産をすること、と密接につながっている場合である。場合によっては両方の活動が重なっている。このような場合には、その時間を異なる活動に区分すればよいが、決して重複計算してはならない。



世帯内職業（Household occupation）は、ひとりの世帯員が行う、市場向けではなく他の世帯員の利益（benefit）を目的とする仕事（tasks）と義務（duties）からなる。このことから、何の仕事（tasks）と義務（duties）をこの職業に含めるべきかという（市場向け労働のケースなら自動的に解決する）問題が生まれるのである。このようなケースや類似のケースに対して、いわゆる「第三者」基準において一般的にとられる解決法は、その行為（performances）が、その行為から直接利益を受ける人物以外の人によってなされるかどうかを基盤にしていた。この基準によれば、職業であることとレジャーであることの境界は不足なく解決される。

### 無報酬、無契約

市場活動と非市場活動は、また別の面でも異なっている。例外はあるが、市場で働く人はほとんど、契約関係の下で働く。契約は集団的であったり個人的であったり、書面によるものであったり口頭によるものであったりするが、一般に、すべき仕事に対する全般的な条件を決め、また労働者に支払われるべき金額も定める。

世帯内のケースでは、このような契約は存在しない。もし世帯（household）と家族（family）とが一致しているなら、結婚による契約および、その家族内での労働を支配する社会的に受容された慣習や習慣、またはそのいずれかがあろう。これらはふつう、労働時間、休暇あるいは病休について何も述べていない。給料も社会保障もないのである。

市場活動と非市場活動の区別とそれらふたつの間での移動は、経済統計や、特に国民生産と所得の測定への挑戦となる。マクロ経済的集計量は、そこに算入されなかった非市場活動が、それらも算入される市場の領域へ移った時はいつでも、増加して実際の経済活動を過大評価し、その実際の経済成長をゆがめて伝える。このような移動は主として、また時には完全に、世帯内職業（household occupation）から市場の職業（market occupation）への変化である。（不況や長期の失業の時には、時として逆の現象、すなわち逆戻りの移動が起るが、ふつうもっと緩やかで短期間しか続かない。）

これらのすべての理由によって、今日、このような移動が統計による描写から除かれてはならないこと、さらに新しいタイプの測定と分類がこの領域で緊急に必要とされていることが認識されている。

現在進行中の国民経済計算の改訂でのひとつの目立ったポイントは、家計部門（household sector）に関するものである。その表示は再構成されるであろうし、新しい小区分が考えられているところである。目的のひとつは、家計の数値（household figures）を残余のものとして見積もることを止め、家計の数値を直接計算する手法を一般化することである。

いずれ、「拡大された国民生産（extended national product）」への世帯内活動による寄与が評価され、国の集計量（national aggregates）の補足となることが希望される。ISCOにとってこれは、すべての世帯内活動を含むひとつのカテゴリーを築くことが極めて重要だということの意味する。

## 6 国民所得と女性の労働

(ニューヨーク、1987年2月23-27日)

National Income and Women's Work, New York, 23-27 February 1987

INSTRAW NEWS No. 8, Spring/Summer 1987

今年初めの国連統計委員会の第24回会期の際に、インストローの寄与はふたつの議題に集約されていた。

国民経済計算(SNA)に関しては、インストローの声明は専門家グループ会議(サントドミンゴ、1986年10月;インストローニュースNo. 7、p. 8-10参照)の意向を反映したものであった。この声明は積極的に受入れられ、専門家会議で勧告されたようにSNAと整合性のある評価を用いて、インフォーマルな報酬のない世帯内活動(activities within household)を推定することに対して、多くの代表が賛同の意見を述べた。代表の中の数人は、家計部門に生産勘定をつくるという提言を支持し、マクロ、ミクロ両方の世帯統計をもっと詳細にする必要があると強調した。

社会統計ならびに指標については、統計委員会は専門家グループの勧告を、女性が行っている有償無償の開発に対する寄与を評価するための統計を改善する具体的な提言として歓迎した。統計委員会はまた、SNAの経済活動についての定義を改訂して家事担当者による付加価値まで含めることはすべきでないが、家事担当者の活動は別個の補助的推計によってとりあげられるべきだという専門家グループの見解に賛意を表した。

統計委員会は、女性の労働を十分に考慮できるように改善された統計的方法論を開発し実行するにあたっては、各国、とくに開発途上国と緊密な作業をすることが重要だと強調した。最終的に委員会は、女性の状況についての統計と指標の開発におけるインストロー、統計局、地域委員会の共同作業に対する支持を表明した。

## 7 女性がSNAにふくめられる必要

Women Need to Be in the System of National Accounts

INSTRAW NEWS, No.9 1987 Winter

経済学者ならびに社会学者が今重視している問題は、国連の国民経済計算を改訂すべきかどうかである。この改訂を行う以前に、女性の経済活動をどのようにして定量化するかが問題である。ここに示すのは、国際的に著名な専門家\*のチームによるいくつかの提案である。

\*インフォーマルセクターでの女性の所得、参加、生産の測定に関する専門家グループの報告 (*Report of the Expert Group on measurement of women's income and their participation and production in the informal sector*(INSTRAW, Santo Domingo, Oct 1986)) から。参加者は Ms. Meena Acharya(Nepal), Ms. Rebecca Appiah(Ghana), Ms. Derek Blades(United Kingdom), Mr. Kochunkunjo Bashir(India), Mr. Ruben Kaztman(Argentina), Mr. Carmen McFarlane(Jamaica), Mr. Stein Ringen(Norway), Ms. Catalina Wainerman(Argentina), Ms. Helen Ware(Australia)。UNSOの代表は Mr. Robert Johnston, ECLAの代表は、Ms. Irma Luz Arriagada と Mr. Arturo de Leonであった。一層の情報は、INSTRAW NEWS No. 7, p. 8-10

### インフォーマルな活動とSNAにおける生産

SNAと女性労働の関係については、「インフォーマルセクターにおける女性の収入ならびにその参加と生産の測定に関する専門家グループ」(サントドミンゴ、1986年10月)の会合において、実り多い長期にわたる論議が行われた。

専門家グループは、SNAでは女性が行っている多くの活動、特にインフォーマルセクターにおける活動について曖昧な定義しかしていないとし、この点

について改訂するよう、強く勧告した。

また、この目的を達成するためには、SNAにおいてある種の追加的部門分割をすることが望ましく、開発途上国の必要とその状況を考慮すべきであるとの合意に達した。

別のSNA会合で検討され、統一的な結論や提言には達しなかったアプローチがある。それは、家計セクターをさらに細区分すること、たとえば農業、非農業のように分けることだった。適切な基準が決められれば、このようではなく、世帯をフォーマル—インフォーマルセクター、あるいは金銭的—非金銭的に区分することが可能である。現在、組織化されていない民間の非法人企業すべてを含めている家計部門は、多くの国であまりに大きく、異種のものが混在しているために、政策分析に有効利用できないでいる。

その一方で、SNAにおけるセクターの定義と区分は非常に慎重に考えなければならない。それぞれの部門について、生産、収入、経費、資本収支を完全にセットにした勘定を開発することが必要だからである。すると、次にデータ収集と分析のための大きな資金等が必要になる。

専門家グループは結論として、現存のSNAの生産の境界はすでに広い領域の金銭的—非金銭的活動をカバーしているので、基本勘定の計算のためには保持されるべきだとの合意に達した。

専門家は、だが、この境界線の定義と理論的根拠がもっと広く理解され、国際的な勧告が国民経済計算にも経済活動人口のデータにももっと広く一貫した形で適用されるように、努力を重ねなければならない、と述べた。

SNAは、国民経済計算のデータ収集、編集ならびに経済活動人口を測定するにあたって、非合法的な活動や「地下活動」もふくめて、世帯の非金銭的活動や自営活動を原則として広くカバーしていることがもっと強調されるべきである。しかしながら専門家グループは、極めて少数のケースでは、水くみ、収穫物の貯蔵、助産のような仕事に関するSNAの区分基準の緩和を考慮すべきだと指摘している。

会合ではまた、女性の活動と生産は、可能な限り国民経済計算の補足表として明らかにされるべきだと結論している。性別に区分した生産についての一連の表をすべて作ることは今すぐにはできないと思われるが、かなりの程度の性

別補足表は、標準的な表や数値とならんで定期的に作成し得るとされた。

### インフォーマル活動と現存SNAの枠外での生産

会合では、現存の経済活動の境界を、世帯労働（household work）を活動のタイプを特定して含めるように広げるべきとする理論的根拠について合意をみた。この根拠は、まず第一に、発展が進むにつれて金銭化される活動は経済活動に含めるというSNAの原則、第二に、交換の余地（amenability to exchange）に基づいている。専門家グループは、GDPに含まれる生産領域外での非金銭的活動を金銭活動でおきかえると、極めて多くの場合、GDPを架空に増加させるという点に同意した。

専門家グループは、現存の生産区分を正しく適用すれば、今日開発途上国で女性が行っている多くの活動はSNAに包括されることを指摘した。

そのよい例は、自家消費のための農業生産、一次製品の加工、薪集め、住居や農場の建物の自力での建設や修繕、さまざまな小規模の活動である。つまり、これらは小さすぎる、インフォーマルである、違法である、非金銭的であるという理由で、またデータがないということではしばしば見落され、不当に排除されている。

これと比べ、多くの先進国での経済的・社会変化によって、育児、介護や食事の準備のような、明らかにGDPから除かれている世帯活動の「外注化」が増大している。

この点について長期間討議した結果、専門家グループは、とりあえず現存の生産の境界を次の理由で保持することで合意した。

- ・ 区分を変えることは、国民経済計算担当部局に事実上新しい業務を課することになり、特に開発途上国を困難に陥れるだろう。
- ・ 必要とされる帰属計算や推定は、多くの国で信頼性、正確さという点で深刻な問題を起こすだろう。
- ・ 多くの国では、貨幣・金融政策は現存のSNAデータに大きく依存している。生産が主に市場志向である国では、国民経済計算で非市場活動を

ふくめる範囲を極端に拡大すると、これら主要政策での適用にとっては SNA の利用価値が少なくなるだろう。

専門家グループは、家事を含むように SNA の生産の境界を改訂することにデータの不足が障害になっているという考え方を否定した。データとこれによる推定の限界は、国民経済計算では共通のものであり、むしろ厳しいのであって、特に開発途上国の多くの地域ではそうである。この点で家事は例外的な挑戦ではないと思われる。さらに多くの国では、かなりのデータは潜在的に入手可能なのであって、勘定表に適した特別な分析と作表作業が行われていないのである。

一方で専門家グループは、経済的生産の境界には含まれない家庭内活動についての「枠外」の勘定を定期的に編集することが必要であると強調した。これらの勘定は、できるだけ多くの国で定期的な作業として編集され、できる限り SNA と整合的であるのが良い。

## 8 インフォーマルセクターにおける 女性の統計を収集し分析する方法 についての地域ワークショップ

Regional Workshop on Methods of Collecting and  
Analysing Statistics on Women in the Informal Sector

INSTRAW NEWS No.15 Winter 1990

7月23日から27日の間、ザンビアのシアボンガで開かれた地域ワークショップは、インストローと国連統計局が、アフリカ経済委員会（ECA: Economic Commission for Africa）と共催したもので、ECAはUNDP出資の「アフリカのインフォーマルセクターでの女性の役割の改善、生産と経営」というプロジェクトの実施機関をひきうけており、このワークショップはこのプロジェクトのひとつの産物である。

ワークショップはザンビア政府が世話役となり、ザンビアの開発計画国内委員会 WID部会と中央統計局、統一国家独立党（United National Independence Party）の女性問題委員会が協力して開催された。

ワークショップの主な目的は、インフォーマルセクターにおける女性の寄与を測定するのに入手可能な統計データを利用する際の地域的な専門知識や国内での経験を参考に、「工業、商業、サービス業のインフォーマルセクターにおける女性統計の編集・分析方法ハンドブック」（*Handbook of Methods of Compiling and Analyzing Statistics on Women in the Informal Sector, in Industry, Trade and Services*）ならびに「アフリカ4カ国の工業、商業、サービス業のインフォーマルセクターにおける女性統計の編集についてのパイロットスタディの総合」（*Synthesis of Pilot Study on Compilation of Statistics on Women in the Informal Sector in Industry, Trade and Services in Four African Countries*）というふたつの文書を検討し、改訂のためのガイドラインを作成することだった。

ワークショップには英語圏アフリカの国々から、国の統計機関や、計画の省



庁および労働の省庁の統計部門、研究機関、国の女性機構の高官たちが参加した。それぞれの政府を代表する参加者には、国民勘定、世帯についてのサーベイ統計、就業と事業所、WID（女性と開発）問題などをふくむいろいろなバックグラウンドと専門分野の者がいた。

この地域にある11の国々、エチオピア、ガンビア、ガーナ、マラウィ、ナイジェリア、セイシェル、スーダン、スワジランド、ソマリア、タンザニア、ザンビアからの代表が参加した。

また、ワークショップには、オランダ開発機構の他、ECA、ILO、インストロー、UNDP、国連統計局など、国連各機関の代表も参加した。

ハンドブックに収められている主なトピックについての講演の他、ワークショップでは参加者の論文発表からも多くを得た。それらの論文は、インフォーマルセクターに関するデータの出所と利用可能性や、データの収集および国民勘定におけるインフォーマルセクター部門のデータの収集と推定における各国の経験についてとりあげていた。

ワークショップは、各国の状況が必要とするものやその実態を反映させるため、ふたつの文書の改訂に向けた詳細なガイドラインを提案し、また統計家、研究者、WID専門向けの訓練・参考文書として改定版『ハンドブック』と『総合』を採用するよう勧告した。

このプロジェクトに参加した4カ国で想定されていた国レベルの訓練ワークショップを、その他すべてのアフリカ諸国でも模倣することが重要であり、また、インフォーマルセクターにおける女性の寄与に関する統計について、データ収集と編集の概念ならびに方法を改善するよう、地域レベル、国レベルでもっと真剣に努力することが必要であるとして、数多くの勧告がなされた。この脈絡において、ワークショップは次の事を勧告した：

- ・ 国の計画作業を援助するためには、女性についての統計を含む総合的統計の開発が必要であるということ、アフリカの政府はもっと敏感に感じとるべきである。また、このことは、経済開発計画アフリカ首脳会議（Conference of African Ministers of Economic Development and Planning）でも注目されるべきであること。
- ・ ECA の統計部門は作業プログラムにインフォーマルセクター統計を含み、

このセクターでの女性の寄与の測定に特に注意を払うこと。また、アフリカの計画作成者・統計家・人口学者合同会議に対し、ハンドブックを研究して国別レベルでこれを使うよう各国統計局に勧告する特別専門家グループを設置する、というワークショップの勧告を提示すべきであること。

- ・工業、商業、サービス業のインフォーマルセクターにおける女性に関するプロジェクトをフォローアップするものとして、改定版ハンドブックを用いた国別訓練ワークショップを、今回のプロジェクトに参加しなかった全アフリカ諸国で実施すべきであること。

農業セクターでの生産における女性の参加率の重要性と、利用できる統計データの限界を認識し、商業、工業、サービス業でのハンドブックの補完として、アフリカの農業のインフォーマルセクターにおける女性に関する統計の編集についての類似のハンドブックを作るべきだとの勧告が強く出された。

基調演説、討議とグループ作業のハイライト、発表された論文などを含むワークショップ進行記録は、今年中には出版される予定である。

フランス語圏のアフリカ諸国で同様のワークショップが計画されており、1990年10月8日-12日にワガドゥグで開催される予定である。

## 9 アフリカのインフォーマルセクター に関するインストローのプロジェクト は統計による解決を試みる

INSTRAW Project on the Informal Sector in Africa Attempts  
Statistical Breakthrough

INSTRAW NEWS No. 16 1991

「インフォーマルセクターにはたくさんの力学が働いており、女性はその中で最も重要な部分である」と言ったのは、UNDP アフリカ地域局の地域プログラム部会長であり上級経済アドバイザーであるアンリ・バジン (Henri Bazin) だった。国連開発計画 UNDP は、インフォーマルセクターにおけるアフリカ女性の役割改善のための政府間プロジェクトに270万ドルを拠出しており、インストローはそのプロジェクトで中心的な役割をはたしている。

このような目標は、アフリカでは多くのことを、おそらく世界の他の地域よりずっと多くのことを、意味するとバジンは付け加えている。土着の小さな事業について語るとすれば、実際には女性について語ることになる。なぜならば、女性は手工業あるいはこの職業について最も知られた従業者だからである。女性がこのような仕事をしなくてはならなかったのは、自らの生活だけでなく、家族の生活も賄わなければならなかったからである。

「政府首脳、大臣や博士など、今日ニュースに出てくる非常に多くの人々は実際には、インフォーマルセクターの女性の収入で育てられたのだ」と、バジンは言う。「そして、今日のアフリカの危機を見れば、アフリカ社会がなんとか存続するために、このインフォーマルセクターが次第に大きな役割を果たすよう求められてきたと言えるだろう。これは、インフォーマルセクターがこれほど繁栄してこれたひとつの理由である。」

インフォーマルセクター——粗い定義をすれば経済の「見えない」部分、は、その労働者が小商業、家庭内労働 (domestic tasks)、食糧加工、工業に携わり、報酬のないことも多い——に対しては、経済の停滞と後退が失業者層を膨

らませるにつれ、開発計画者が次第に注意を払い始めている。インフォーマルセクターは、アフリカでは特に、非常に多くの世帯主が困窮と極貧から脱出する安全弁であるとみなされつつあり、そのような世帯主の大多数は女性である。現在6億4210万人であるアフリカ大陸の人口が2025年には2倍以上の16億人になるとすると、このセクターへの人口吸収力は非常に緊急を要する。

「土地に無理をかけることが増え、人々は他の現金収入源を探している。」と、国連婦人開発基金（UNIFEM）の技術援助部門を指揮するマリリン・カーは説明している。UNIFEM もまた、インフォーマルセクターのプロジェクトに関与している国際機関である。「女性、とくに農村地帯からの女性はますますインフォーマルセクターへ流入しており、その大部分は食品加工や商業のような非農業活動へ移っていくのです。」

国によっては全インフォーマルセクターの従業者（operators）の半分以上を女性が占めるほどの、インフォーマルセクターへの女性の劇的な流入は、似たような職種につき、似たような商品やサービスを提供しがちな女性たちが互いに競い合うということでもあり、このことはコミュニティーの開発の利害に関わってくる。その結果、アフリカのプロジェクトは3つの主要なセクター、すなわち工業、商業、それにサービス業におけるインフォーマルセクターでの女性の活動に焦点を当てている。プロジェクトの長期的な目標は、こうしたインフォーマルセクターの活動をより生産的にすることであり、その戦略は政策、統計、訓練に集約されている。インフォーマルセクターの女性について必要なデータが利用できるという点から、ブルキナファソ、コンゴ、ガンビア、ザンビアの4か国がケーススタディのモデル国に選ばれた。

### アフリカの女性に対して緊急援助が必要

今日の世界が直面している経済問題、環境問題のうち最も緊急なものは、すべてアフリカ大陸に集中し、かつてないほどの大きさを危機をうみだしている。

1980年代の景気後退と、それにとまなう債務増大、開発途上国の社会的支出を削減する耐乏政策、また膨大な人口に飢餓をもたらした砂漠化と旱魃は、ひとびとから飲み水と下水施設を奪い、農村から都市への大量人口流入をもたら

した。間断のない民族闘争と内戦、エイズの流行など全てが犠牲をもたらしている。次の統計を考えてみよう。

- ・ アフリカでは少なくとも21%の世帯が女性世帯主世帯である。農村地帯では、場所によってこの数字は50%に近い。
- ・ 貧血は栄養失調を示す信頼性のある指標であるが、15歳から49歳のアフリカ女性のうち半分近くが貧血状態にあり、1億人以上のアフリカ人が食糧不足状態にある。
- ・ 1989年のサハラ以南では、人口の52%である3億2500万人が完全な貧困状態にあり、その70%は都市住民だった。
- ・ ほとんどが女性である貧困状態の人々のうち80%は農村地帯にすみ、サハラ以南のアフリカでは、農村にすむ女性の数は都市在住の女性の数の2倍を上回る。その全農村世帯のうち30%は土地を持たない。
- ・ アフリカの出産率は世界最高である。
- ・ 多くのアフリカ諸国では、男性とほぼ同数の女性がエイズウイルスに感染している。その数は、15歳から49歳までの全サハラ周辺人口の1%弱である。サハラ以南の女性の平均寿命は53年である。
- ・ アフリカ難民の3分の1は、女性と子どもである。
- ・ サハラ以南の20歳から24歳の女性の非識字率は、1990年には49.2%であった。
- ・ 過去40年の間に大陸の森林の24%が消失し、これによって薪の主要な採取者であり全アフリカの全食糧生産の80%近くを担う女性たちの困難が増している。

アフリカ経済における女性の役割を見ると、見通しは一様に厳しい。賃金労働者である経済活動人口は、他の地域に比べてアフリカの女性では低い（1985年に30%）が、インフォーマルな女性従業者の割合は他よりずっと高い。サハラ以南のアフリカで経済活動をしている女性の59%前後は自営業者――この言葉は、（アフリカでは女性がわずかな割合しか占めていない職業を除けば）、ふつう、インフォーマルセクターをさす――である。

15歳以上で経済活動をしている全女性の79%は農業に就いている。サービス業では、アフリカの全インフォーマルセクターの生産者の3分の2を女性が占

める。男性の週平均の労働時間が54時間であるのに対し、これらの女性たちは、無給の家事労働（housework）を含めて週平均67時間働く。男性も女性も、失業者は1979年から1989年の間に4倍に増えた。

「実質賃金は、サハラ以南のほとんどの場所でこの10年間に下がっており、非熟練労働者、すなわち都市の貧困層において最も大きく低下した。」とワールドウオッチ研究所が報告している。また、男性よりもっと多数の女性が仕事を求めて都市へ流入している。サハラ以南の女性労働力の割合は、実際には1970年から1990年の間に2%減少しているが、これは極めて劣悪な経済状態のためであり、またアフリカ大陸の人口がどんどん増えているにもかかわらず、生じている。一般に都市部に集中している工業は、都市地域の女性の仕事全体の10%しかもたらさない。これはほとんどの都市で、男性にとっても女性にとってもインフォーマルセクターが最大の雇用主になっているという意味である。女性にとっての仕事は、主に小さな店、食品加工、小規模の工場、個人的なサービスなどであり、売春などの違法活動も時にはリストに含まれる。

サハラ以南の女性にとって伝統的な本拠である農業においてさえ、女性の割合は、1970年の87%から1985年には81.8%まで下がった。これらの数字は、季節賃金労働者となる大多数の女性を低く推定しているようであるが、一方、枯渇した土地がアフリカ大陸の地形的制約ともあいまって女性に不利に働いていることも明らかである。

簡単に言うと、アフリカのインフォーマルセクターの女性は貧しく、移住者であり、非識字者であり、非熟練者であることが多い。彼女たちの賃金は低く、その上一般的に男性より低い。そして「2日分（double day）」働くが、仕事の保障も政府の保護もなく、融資がなく、科学技術、土地所有を含む法的権利へのアクセスもない。

### 多様化が決め手

エイズはアフリカの女性に特にひどい衝撃を与えた。エイズに感染した「夫を見捨てる女性がどんどん増え、インフォーマルセクターで働く機会を探す女性の流れに拍車をかけている。」と、UNIFEMのカーは言う。この新しい参入者

はみな、一様に非熟練活動に生活基盤を求めており、多様化が鍵であるとカーがいう理由はここにある。

「融資は答えにならない」とカーは主張する。「女性に何も技術がなく、あるいはみなが同じことをしてしかも市場がないとするなら、融資を与えるだけではなく、いろいろな生産技術が必要なのである。これは資本金の問題というよりは関係の問題であり、特定の職業に予備知識を持ち関心を持つ女性は、訓練センターや女性のための国の組織と手を結ぶ必要がある。

UNDPのバジンはこれに賛成している。「多様化するのは人が思うほど容易ではない。なぜならば、それはインフォーマルセクターそのものから抜け出ることを意味する場合が非常に多いからである。ただ、このセクターには、なお多様化して入り込める機会がある。たとえば、食品を売ることから始める人もいる。時が経てば、販売用の衣料を仕入れるだけのお金が貯まるかもしれないし、食料品店を開けるかもしれない」。

「しかし、多様化の可能性はかなり限られているという印象であり、その理由のひとつは、女性の活動の性質だけではなく、融資へのアクセスである。多様化するということは、実際に未知のものへ入っていくことであり、そうするためには、たやすく手には入らない新しい技術と機会が必要なのである。」

「また、インフォーマルセクターそれ自体の中に、ほとんど知られていない男女間の分業がある」のであり、この分業が多様化の限界のなにかを示している、とバジンは言う。「錠前屋になるとか、自動車整備工場を持つとかいうように、確かに男性がしていることで女性がするのは想像しにくいというものがあって、こういったものは実にインフォーマルセクターの一部なのである。男性は魚をとるものとされ、女性は干すものだとされている。だから、社会的伝統は非常に重要なのである。」

#### アフリカの多様化を反映する4カ国

なぜ国際社会はアフリカに焦点をあてているのだろうか。それは、今日アフリカを救うためにはアフリカの女性を助けなければならないことが明確になったからである。

インフォーマルセクター・プロジェクトに参加している4つの国は、自然、文化、経済面での大陸全体の多様性を反映している。英語圏の西アフリカであるガンビアは、フランス語圏のセネガルに3方を囲まれた、事実上の極小国であり、90万の人口の23%のみが都市人口である。ガンビア人の多くは電気製品の「国境での取り引き」を行っている。低い関税は商取引を盛んにするために設定されたが、この国は年間収入の約20%を米の輸入に費やし、しかも栄養失調が増大している。だが、市場志向の政策は高度成長を促し、インフレーションを押さえた。落花生と綿花の生産は増加し、観光収入は上がり、外国の資本投資が盛んになった。

全国人口センサス、世帯調査、行政記録その他の情報源からインストローが編集したデータによると、ガンビアでは15歳以上の女性の69%が経済活動をしており、その88%が、市場で野菜や落花生を売るとか、家庭用品や手作り化粧品、自家栽培の根菜、葉からとった着色料を売るとかしてインフォーマルセクターで働いている。この数字から農業を除くと、インフォーマルセクターの女性労働者は経済活動をしている女性のわずか9.5%でしかなく、そのほとんどは商業で働いている。全体的にみて、女性のインフォーマルな国内総生産(GDP)はこの国全体の25%をしめる。

これらのデータは、プロジェクトでのもうひとつの英語圏の国、ザンビアと際立った対照を示している。陸に囲まれたフロントライン国家ザンビアでは、都市人口は全人口 850万人の50%を占め、女性の39%が都市に住んで、小商売や地域的、社会的、個人的サービス業で働いている。農業を除くと、女性の経済活動人口の17.6%がインフォーマルセクター活動に携わっている。

ザンビアが開発途上国の中でも5指に入る債務国であることを考えると、1980年代に世帯収入全体に占める女性のインフォーマルな稼ぎの重要性が増大していることは驚くにあたらない。インフォーマルなGDPのうち女性が34.5%の割合を占めたことは、実に注目すべきことである。

何十年もの間、外貨を銅とコバルトに頼ってきたため、これら商品の価格急落、GNPの3倍以上にも上る対外債務支払、旱魃と極度の栄養失調など数々の要因によって、ザンビアは1980年代に活動不能になった。プロジェクトの4ヶ国中最高の、平均してひとり7.2人という出産率を持つザンビアでは、断固として



人口増加にブレーキをかけ、農村から都市への流入を逆転させる計画を立てている。

ブルキナファソは基本的にイスラム教国であり、西アフリカの元フランス植民地である。900万の人口のうち、92%が女性優位の自給農業で働き、ドロ、ピーナツオイル、シェーバター、サムバラという4つの食品加工業で雇用労働者の49%を占めている。海外援助はGNPのほぼ半分におよび、ブルキナファソの人々は近隣のコートジボアールの同胞から祖国へ送られてくる収入に大きく依存している。

ブルキナファソでは、女性の80.4%は経済活動をしているのであり、4カ国中どこよりも一番高い比率である。女性はまた、公式には無給家族従業者に分類されるインフォーマルセクター従業者の3分の2を占める。彼らの1985年から1990年の平均寿命は48.9年であるが、これでこの国は世界の最貧国のひとつに位置づけられる。

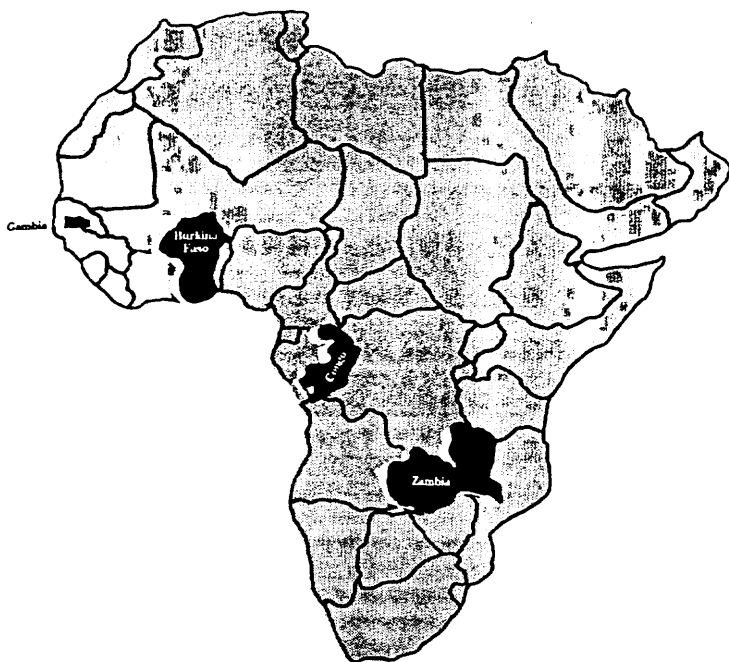
コンゴは「アフリカ唯一のマルクス主義的資本主義国」と呼ばれている。国の貧しい資源に大きく依拠する好ましくないセクターが並立して発達した後で、このフランス圏国家で石油が発見され、まもなくサハラ以南では最大の産油国のひとつとなった。1990年に230万の人口であり、コンゴはこの人口増加率を低すぎると見て、出産力レベルをあげる努力をし、目下の出生率は母親ひとりにつき6.3人である。(アフリカ全体としては、1990年で6.0人であり、他の開発途上地域では、1985年から1990年の間で東アジアの3.0人から南アジアの5.4人までばらついている)。

コンゴについては、他のプロジェクト参加国にくらべて利用可能な統計や指標が少ない。だが、利用可能なデータは、経済活動人口の37%以上はインフォーマルセクターで雇用されていることを示している。女性全体の49%強が経済活動をしており、インフォーマルセクターでは小売業が女性の主要(67.8%)な職業になっている。女性はインフォーマルなGDPの39.3%に寄与しており、人口の40%が都市在住である。

### 苦悩する経済セクターへの救済

経済的福利への圧迫を女性が克服するのを援助するには、どうしたらよいのであろうか。「輸出産業だけでなく、皮革製品、電気器具、食品加工のような労働集約的な国内産業を促進することによって、フォーマルセクターにおける女性労働力の需要を拡大することが必要だ。」と、マイラ・ブブニクとサリー・ユーデルマンは『第三世界における女性、貧困、進歩』の中で強調している。だが、UNIFEMのカーが忠告しているように、海外市場への従属は避けなければならない。「私たちは、女性による輸出品の生産を援助することに注意を切り換えている」とカーは言い、乾燥トマト、桃、ハーブティのような産物の食品輸出管理にあたる女性を訓練をする南アフリカのプロジェクトや、海外市場向けの生地を生産するラオスのプロジェクトを引用している。この発想は、女性が適切な技術と環境的に安全な材料を用いた非伝統的労働するように訓練される、望ましい安定した国内市場を求めるものである。

いかなる訓練をも実施する前に、変えられるべき状況は何かを判断する研究がなければならない。ここが、UNDPのプロジェクトが参入する場である。



インフォーマルプロジェクト対象アフリカ4カ国  
西からガンビア、ブルキナ・ファソ、コンゴ、ザンビア

「私たちがすることは主に、いくつかの国々でテストするパイロットプロジェクトであり、その後、地域プロジェクトが済んだところへ国家的プロジェクトが行われるとよいと思っている。私たちが関心あるのは、国レベルで起こることと区別できる地域的な特異性のあるものだ。そして、地域レベルでのこの広い見通しは、おそらく国連システムに独自のものであろう。」とバジンは言う。

国連国際経済社会総局統計局によると、インフォーマルセクター・プロジェクトによって、インフォーマルセクターへの女性の参加とそのGDPへの寄与の割合の推定値を与えることが可能になった。こうした統計は、逆に政府に対して、政策策定に必要なデータを与えることになる。地域レベルで研究することによって、このプロジェクトの統計的要素は、今日国際的にもまた各国それぞれにも扱えるパターンを識別できるものになった。

ケーススタディは、たとえば、経済的圧迫によって生じるインフォーマルセクター活動の一般的な増大や、インフォーマルセクターでの女性の優勢を示した。その結果今日では、女性の状況が改善され得る領域、融資へのアクセス、経営訓練、技能開発、に向けて政策を練ることができる。

インストローは国連統計局と連携してプロジェクトの統計の部分を担当してきた。プロジェクト参加各国で利用可能な統計の研究をもとに、インストローはパイロットスタディの総合書と技術ハンドブックの作成を準備した。また、ワークショップをアフリカの地域レベルで2つ、国レベルで4つ主催し、その勧告はハンドブックの改訂に利用された。

パイロットスタディ総合書は、各国にとって情報源の検討になり、また各国国民勘定、人口センサス、調査研究を要約するものである。数多くの国別統計表は、経済活動人口、家事担当者(home maker)、自営業者と無給家族従業者それに雇用労働者の性別および年齢別グループによる分布を詳細に示している。

一方ハンドブックは、非農業インフォーマルセクターでの発展に対する女性の寄与に関する統計を作成し利用する方法について、実践的なガイドとなるよう意図されている。そこでは、有報酬、無報酬の女性の仕事に対して経済価値を認定する基本的方法が論じられ、現存のデータの不適切さが評定されている。

「本物の解決策ができたのではないかと思う」と、バジンは統計要素について言っている。「女性の多くの活動は調べられることがなかったが、こうした

活動を測定するための新しい指標を導き出したのだ。たとえば、女性のGDPへの寄与を測定するかなり正確な指標を出してきている」。GDPとは、一定期間の居住者が、国民経済において生産した最終需要のための商品ならびにサービスの産出高の総価値、と定義される。

統計プロジェクトに一番新しい見地は、現存するデータが、ある場合には不十分であっても、それらををそうした寄与の評定のために利用できることを示したことである。女性の経済的寄与を測定することは気が滅入るほど複雑な仕事であるに間違いない。2つの一般的アプローチがある。ひとつは、発展についての何らかの指標を上げたり下げたりするときに女性が果たす役割を評価すること、もうひとつは、国・地域ないしセクターの労働力、生産、あるいは所得獲得への女性の参加を測定することである。インフォーマルセクターについては、統計プロジェクトの目的は、そこで働く女性の、主として自営業者の、正味の収入を明らかにすることである。これを実行するには、こうした女性の収入に関する情報を直接入手するか、あるいは生産高の情報を集めて投入した金額を差し引けばよい。このようなデータが手に入らなければ、数量とその市場価格から価値を計算しなければならない。

インストローのハンドブックが用いる推定は、国際労働機関（ILO）の勧告と、ほとんどすべての国で生産と成長を測定するのに用いている国連の国民経済計算（SNA）に従っている。SNAの定義は目下改訂中であるが、その理由は主として、世帯活動（household activities）が除かれているという抗議のためである。インストローの研究は、アフリカプロジェクトでもその他の地域のプロジェクトでも、この改訂のための長く重要なプロセスに貢献してきた。

### インフォーマルセクターの定義

ハンドブックが示すように、アフリカのインフォーマルセクターには普遍的な定義はなく、時として一国の中にいくつもの定義がある。国際的レベルでは、この用語はフォーマルセクターに入らない経済活動すべてを網羅して使われてきたが、この定義は広すぎて政策上の目的に利用できない。

ギタ・センは、インフォーマルセクターでの女性労働のマクロ経済的政策分

析に関するインストローの会議において配布された論文の中で、「インフォーマルの単位は、小さく、労働集約的で、相対的に生産性が低く、組織化されておらず、一般に低給与の労働であり、主として政府の規制、援助の範囲外で経営されるものとされている」と書いている（p.8 の記事参照）。センは、「まちなかで荷を引く女性の台車押しと、輸出用の生地を作って売る小さな経営者との区別をつけなければならない」と言う。

セクターを定義するのに一般に用いられる基準は、所有権と単位の規模、（分業、専門性等の）経営上の特徴、労働力の資格、登録および会計記録である。インストローは、現存の統計の型からいって最も実践的な運用上の定義は、自営業者、無給家族従業者、それに可能な場合は必ず見習者も入れたものに限定されるべきだとの結果に達した。しかしながら、この定義は必ず現行の国際的な従業上の地位分類（ICSE）によって限定されなければならない、セクターの大きさが考慮されるべきであるならば、このICSEは幅広いものにしなければならない。

「一般的に、インフォーマルという言葉は誰かに生まれつきのものでなく、もちろん特別な経済活動に固有のものでもない」とハンドブックには述べられている。「インフォーマルであるという概念は、生産の単位が組織される形態に関わる。だから、ある世帯員が、同じ世帯の他の世帯員の企業で無給で働き、そこではたくさんの給与労働者を雇っているという時、その生産の単位がインフォーマルセクターに属していれば、この世帯員はインフォーマルセクターに属することになる（p.7 の定義を改良するためのインストローアフリカ地域ワークショップの勧告参照）。

インフォーマルセクターが「地下経済」および違法な活動と同義であるかどうかについては未だに議論があるが、それがなんであっても、その存在を説明するために少なくとも4つのアプローチが使われ、それらはすぐに定義の問題に帰結する。構造的アプローチは、バーガー（Marguerite Berger）とブブニク（Mayra Buvinic）が言うように、「インフォーマルセクターで働く雇用労働者の大部分は近代的フォーマルセクターに雇用機会がないからこのセクターで働くのだ」とする。「女性の冒険—ラテンアメリカのインフォーマルセクターへの手引き（*Women's Ventures: Assintance to the informal sector in*

*Latin America*)」の編集者は、この「労働の過剰供給の枠組み」が最も広い定義であると考えているが、同時にこれでは家事サービス(household service)を分類することが難しくなると考える。ラテンアメリカでは特に、家事サービス従事者(domestic service worker)の80~90%を女性が占め、こうした仕事をインフォーマルセクターに含めると「ラテンアメリカでは女性が大きく支配しているように見えてしまう」。そこで、専門家の中には、定義から家事サービスを除くよう勧告する人もいる。

第2のアプローチは、バーガーとブブニクが「ネオマルキシズム的」と呼ぶものである。そのアプローチは「フォーマルセクターの資本家的生産者がインフォーマルセクターの労働者を搾取する」ことを重視し、「世帯内の女性の無給労働とインフォーマルセクターの女性労働は、収入のためになされるのであるが、資本のために労働費用と原料費を軽減するという、同じ目的に仕えている」という前提にたっている。

「ヤミ市場」アプローチによれば、「地下経済は国際規模での競争激化の結果である。この競争激化は、下請と請負を基礎にする新しいタイプの製造業の発展をもたらした」のである。このタイプのインフォーマルセクターを含めることは議論のあるところである。なぜならば、バーガーとブブニクによれば、それはインフォーマルセクターのように「見える」が、実際には偽装した賃金労働の形態であり、雇用主は労働法不在の恩恵に浴しているからである。だが、多くの輸出加工会社は税金を払わず、その活動が「違法な目的になされている」わけでもない。従って、輸出加工企業の下請をヤミ市場と同じだとするのは不適當である。『他の道(Other Path)』を書いたペルーのヘルナンド・ド・ソト(Hernando de Soto)は、その中に出てくる「ネオリベラルアプローチ」で有名になった。この言葉は、インフォーマルセクターを資格、最低賃金法や社会保障支払いのような「法的文書あるいは法的義務が欠如している点で」定義している。しかし、このアプローチはインフォーマルセクターの他の経済活動面を叙述しきれないし、また多くの国ではフォーマルセクターの企業でさえこのような形式を気にかけていないのである。

バーガーとブブニクは、少なくとも都市部については、インフォーマルセクターを次のように単純に定義する方がよいとしている。「生産活動の異種混合

体であり、近代セクターでは雇用されないような人々を多数雇用するという共通の特徴を持ち、また労働供給を補填する生産要素には相対的にわづかしかアクセスしないで自ら雇用を生み出さなければならない」。

インフォーマルセクターの女性は、インターアメリカ開発銀行（IBD）の1990年報告によると、「インフォーマルセクターとフォーマルセクターの生産をつなぐ重要な役割を担っている」のである。「フォーマルセクターの会社のための中間製品あるいは完成品を生産する下請の生産活動に携わって」といようと、「自営業（self-generated）の活動」で、サービスの販売あるいは食品その他の販売をしようとして、開発途上国においても先進国においてもインフォーマルセクターの女性は共に、成長しつつある要因であり、彼らが貴重な時間を使って行っていることは理解されなければならない。

インフォーマルセクタープロジェクトは、アフリカの国々で女性とインフォーマルセクターの統計開発を援助する企画として1987年に開始され、機関をこえての共同作業である。アフリカ経済委員会（ECA）、アフリカ統一機構（OAU）、国際労働機関（ILO）、国連統計局、それにUNDPの全機関が関与している。本記事に引用されているデータは、インストローをふくめ、さまざまな国連機関による文書、またワールドウォッチ研究所、書物『女性の冒険（*Women's Venture*）』からとった。

# 10 女性と統計：アフリカのインフォーマルセクタープロジェクトの結論

Women and Statistics: African Informal Sector Project  
Concludes

INSTRAW NEWS No.17 Spring 1992

インフォーマルセクターの生産と経営における女性の役割の改善に関して最近アフリカで行われたインストロー統計ワークショップの参加者によると、インフォーマルセクターの情報を伝達する公共機関のないことが、このセクターが直面している問題の背後で鍵を握る要因のひとつである。（インストローニュース No.16参照）

インストローが国連開発計画UNDP出資のプロジェクトに長期的に関与してきた結論を発表したワークショップは、インフォーマルセクターの創造性と技術革新を触発し、またその拡張と発展を促進するために、このセクターに関連したあらゆることがらを扱う公共機関を設立するよう勧告した。

ガンビア、ザンビア、ブルキナファソ、コンゴからの参加者はみな、その機関が各国の事業所と経営の活動を監督する法律および規則を検討するよう提言し、インフォーマルセクターの行動を侵害するものを改正するよう勧告した。飲料水、下水施設、保育所などの適切な施設のある良好な労働環境を創り出すために、インフォーマルセクターの経営者(operator)のためのワークショップを開くよう主張した。また、市場への販売経路を拡張し、インフォーマルセクターがフォーマルセクター産業に対してもっと競争力をつけられるようにするために、国内、国際両市場を保護する戦略が展開されるべきであると彼らは言った。

女性のプロジェクトのコーディネーターのほか、政府高官、NGOの代表者、地方機関や研究所からなる参加者は、インフォーマルセクターの活動を監視し、



技術を改良し、活動に資金供与する任務を負った専門家を訓練するプログラムの必要性を強調した。インフォーマルセクターの活動への、特認利率や単純化された債務返済方法での柔軟な貸与条件を特徴とする融資システムを要求した。政府代表や政策策定者などに対し、国民経済におけるインフォーマルセクターの役割に敏感になる一日セミナーを開催すべきである。

ワークショップ参加者は、インフォーマルセクターに関する統計活動に関する各国技術委員会を創設するようにと、技術レベルでも勧告した。このような委員会は、調査を組織し、実施するための共通の方法論的枠組みを確立し、サーベイデータの体系的な処理方法を編み出すものである。さらに、インフォーマルセクターの定義を採択し、国内のあらゆる研究とデータ収集に適用すべきである。国際産業および職業分類も採用して、すべての統計作成者が利用すべきである。インフォーマルセクターについて、女性に特に焦点をあてた情報とデータは中央に集約化し、情報を対照し、蓄積し、アクセスしやすくするためにデータバンクを作るべきである。最終的には、必要なデータをつくるために国が調査を実施し、そのデータを組み替え、チラシやポケットダイジェストによって普及すべきである。

1988年に始まったこのプロジェクトは、インフォーマルセクターの討議を国の論題にすることを目的としていた。インフォーマルセクターはアフリカ社会において独自の重大な役割を演じているにもかかわらず、政府の援助を困難にし論争をおこすある種の否定的な含意のゆえに無視されてきた。プロジェクトの主な目標のひとつは、アフリカの女性が開発により効果的に参加できるよう、インフォーマルセクターでの女性の生産性と生産の改善に関与しているすべての機関の計画能力を向上させることだった。

プロジェクトの成果で最も大きく波及したものは、プロジェクト国における統計の作成者と利用者の訓練ワークショップだった。討議では、国の経済におけるインフォーマルセクターの役割を批判的に評価することもあった。プロジェクトの統計的要素が用いたアプローチ、すなわち、国の顧問や役人を使って国のケーススタディを実施させたりワークショップの講演準備をさせること、によって、訓練活動は外部からの関与がなくても地方レベルで複製できること、それによって公共機関設定に寄与することがはっきりした。

プロジェクトの結果として、ワークショップの勧告から導かれた即時のおよび長期的活動がいくつかあげられる。たとえばザンビアでは、毎年世帯調査が実施されているが、次回の調査はインフォーマルセクターでの必要なデータを収集することに集中して行われる。どの国の専門家も、プロジェクトの目標をプロジェクト終了後も追求することに積極的であることを表明したが、このことは結果的にインフォーマルセクターの汚名を返上し、より多くの政府がインフォーマルセクター政策において積極的な立場をとることを推進するだろう。

後に続くべき良いモデルがすでに存在している。ケニアでは新しくインフォーマルセクターのために作られた官庁があり、またザンビアはその第4次開発計画の中にインフォーマルセクターに関する1章を設けている。

# III インストローの出版物リスト

(1993年6月現在)

ここに掲げるのは、インストローの出版物リストである。これは、インストローから送付を受けた List of INSTRAW Publication: July 1990と同 June 1993に主として基づいており、さらに *Catalogue of INSTRAW publications* (1991)で補った。

このうち List の方は、必ずしも全出版物を網羅していないし、さらに品切れで List 発行時に入手できないものは、リストから除外している。このためシリーズのうち SA-18 24、さらに SB にはかなりの脱落部分がある。Catalogueがリストにふくまれていない他の出版物をも掲げているので転載した。但し、Catalogueにおいて forthcomingとされているものについて、予想年次に(?)を付した。ポスター等若干のものはふくめなかった。

シリーズの不明部分と、そもそもインストローの出版物の区分とそのコードとについてもインストローに照会中であるが、この冊子の出版までには間に合わなかった。

それぞれの出版物についてほぼ、出版物名、著者、出版機関、コード、ページ数、出版地、出版年次、使用言語、が与えられている。

使用言語の略号は、A:Arabicアラビア語、E:English 英語、F:French フランス語、J:Japanese 日本語、R:Russian ロシア語、S:Spanish スペイン語、である。

この出版物リストによってもインストローが発足以来、途上国の女性の問題に重点をおきながら、精力的かつ多彩な活動を行なってきたことがわかる。

インストローのこれら出版物の一部は、国立国会図書館、国立婦人教育会館、法政大学日本統計研究所において閲覧可能である。しかし、いづれもインストローの出版物を網羅的に保持しているとはいえない。目下、国立婦人教育会館と日本統計研究所が特に収集に努めている。

INSTRAW/SER. A/

- SA-1. Report of the Meeting - Evaluating Bilateral and multilateral Experiences in the Development and Use of Women in Development (WID) Guidelines/Checklists: Implications for National Use in Formulating Agricultural Projects for Women, held in Helsinki, October 1985. FAO/INSTRAW. 57 p. Santo Domingo, 1986. (E,F,S)
- 2 Report of the Workshop Aimed at Designing a Modular Curriculum for Training Managers and Entrepreneurs in Industry held in Vienna, 3-7 October 1984. UNIDO/INSTRAW. 27 p. Santo Domingo, 1986. (E,S)
- 3 Report of the Expert Group Meeting on Women and New and Renewable Sources of Energy, held in Santo Domingo 11-15 February 1985. INSTRAW. 52 p. Santo Domingo, 1986. (F,S)
- 4 Report of the Expert Group Meeting on Measurement of Women's Income and Their Participation and Production in the Informal Sector, held in Santo Domingo, 13-17 October 1986. INSTRAW/UNSO/ECLAC. 27 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 5 Training Users and Producers in Compiling Statistics and Indicators on Women in Development - Syllabus and related materials from the subregional seminar held in Harare, 29 April to 7 May 1985. DIESA/UNSO/ECA/INSTRAW. 144 p. Santo Domingo, 1986.(E/F/S/R/A)
- 6 Report on the Training Workshop on Statistics and Indicators on Women and Development, held in Islamabad, Pakistan, 2-6 November 1986. Government of Pakistan Cabinet Secretariat Women's Division, the Federal Bureau of Statistics, the Statistics Division/INSTRAW, in collaboration with UNSO. 104 p. Santo Domingo, 1987. (E)
- 7 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Nairobi, Kenya, 9-13 November 1987. INSTRAW, 53 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 8 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Addis Ababa, Ethiopia, 23-28 November 1987. INSTRAW, 89 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 9 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Kadugli, Sudan, 16-21 January 1988. INSTRAW, 56 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 10 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Mogadiscio, Somalia, 13-18 February 1988. INSTRAW, 105 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 11 Report of the Workshop on Statistics and Indicators on the Social and Economic Situation of Women Particularly in the Informal Sector, held in Colombo, Sri Lanka, 12-16 October 1987 and organized by Centre for Women's Research (CENWOR), the Department of Census and Statistics, and INSTRAW in collaboration with ESCAP and UNSO. 166 p. Santo Domingo, 1988 (E)
- 12 Report of the Regional Training Seminar on Women's Contribution to the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade. Held in Bangkok, Thailand, 23-27 1989 and organized by INSTRAW in co-operation with the Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. 48 p. Santo Domingo, 1989 (E)
- 13 Report of the National Workshop on the Improvement and Use of Statistics and Indicators on Women in Development. Held in Beijing, China, 1-8 June 1989. Organized by the State Statistical Bureau of the People's Republic of China, All China Women's Federation and INSTRAW in collaboration with the Statistical Office of the United Nations Secretariat and the Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. 119 p. Santo Domingo, 1989. (E)

- SA-15 **Report of the Seminar on Women in Development: Post Nairobi Alternative Approaches** held in Santo Domingo from 11 to 14 July, 1989, organized by INSTRAW. 35 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 16 **Informe sobre Taller Subregional de Centroamérica para Productores y Usuarios de Estadísticas e Indicaciones de la Mujer y el Desarrollo.** San José, Costa Rica, 5-10 diciembre 1988. INSTRAW, 152 p. Santo Domingo, 1989. (S)
- 17 **Proceedings of the Interregional Consultative Meeting on Women in Co-operatives: Implications for Development**, held in Plovdiv, Bulgaria, 20 to 24 June 1988, organized by INSTRAW in collaboration with the Research Commission Women in Socialist Society. 374 p. Santo Domingo, 1990 (papers in the language in which presented at meeting) (E,F,S)
- 19 **Report of the National Workshop on Women, Water Supply & Sanitation** held in Lagos, Nigeria from 10-16 May 1989. Organized by INSTRAW in collaboration with Zonta International. 47 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 20 **Report of the Joint Training Seminar on Women, Population and Development** held in Santo Domingo, Dominican Republic, 22 to 26 May 1989. Organized by INSTRAW in collaboration with the UN Population Fund. 35 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 21 **Proceedings of the International Consultative Meeting on Communications for Women in Development** held in Rome, Italy, from 24 to 28 October 1988. Organized by INSTRAW with the support of the Government of Italy and the Friedrich Ebert Stiftung. 380 p. Santo Domingo, 1990. (Papers in original language presented)
- 22 **Report Statistics on Women.** Compilation of papers presented during the second INSTRAW/ECE Meeting on Statistics of Women, Geneva, Switzerland 13-16 November 1989. 221 p. Santo Domingo, 1990. (E,F)
- 23 **Report National Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy**, held in Dar-es-Salaam, Tanzania, 11 - 15 June, 1990. 46 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 25 **Report National Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy.** Cairo, Egypt, 24-28 June 1990. 39 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 26 **Informe seminario taller Mujer desarrollo y alternativas energéticas: fuentes de energía nuevas y renovables.** Held in Santo Domingo, Dominican Republic, 11-13 December 1990. 45 p. Santo Domingo 1991. (S)
- 27 **Report Regional Training Workshop on "Women and Renewable Energy Sources"** held in Tripoli, Libya, 1-8 December 1990. 45 p., Santo Domingo 1991. (E)
- 28 **Report of the Mediterranean Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy** held in Ljubljana, Yugoslavia, 18-21 September 1990. 124 p. Santo Domingo, 1991. (E)
- 29 **Report on the Regional Workshop Methods of Collecting and Analyzing Statistics on Women in the Informal Sector and their Contribution to National Product**, held in Siavonga, Zambia, 23-27 July 1990. Hosted by Government of Zambia, organized by INSTRAW in collaboration with the UN Statistical Office, the Economic Commission for Africa and funded by UNDP. 222 p. Santo Domingo 1991. (E)
- 30 **Rapport sur le séminaire sur l'amélioration des statistiques et indicateurs pour l'évaluation de la contribution de la femme au développement national**, Saly, Senegal, 25-30 junio 1989. Santo Domingo 1991. 129 p. (F)
- 31 **How to Improve Banking for Rural Women: Guidelines for Action.** Report from interregional seminar held in Nicosia, Cyprus, 19-30 November, 1990. Organized by the International Fund for Agricultural Development (IFAD), the Mediterranean Institute of Management (MIM) and INSTRAW. 22 P. Santo Domingo 1992. (E)
- 32 **Report of a Consultative Meeting on Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Elderly Women.** New York, 28-30 May 1991. Organized by INSTRAW in collaboration with the Statistical Office of the United Nations Secretariat. 13 p. Santo Domingo 1992. (E)
- 33 **The Women in Development Dimension in Evaluation Methodologies.** Report from the Consultative Meeting: Evaluation Methodologies for Programmes and Projects on WID, New York, 8-10, 1989. 117 p. Santo Domingo 1992. (E)
- 34 **Rapport Séminaire national de formation à l'utilisation des statistiques sur la place et le rôle des femmes dans le secteur informel.** Brazaville, Congo, 19-24 August 1991. 101 p. Santo Domingo 1992. (F)
- 35 **Rapport Atelier régional La collecte et l'analyse des Statistiques concernant l'activité des femmes dans le secteur informel et leur contribution au produit national.** Ouagadougou, Burkina Faso, 8-12 October 1990. 76 p. Santo Domingo 1992 (F)

- SA-36 Rapport Séminaire national de formation à l'utilisation des statistiques sur le rôle des femmes dans le secteur informel. Ouagadougou, Burkina Faso, 6-10 August 1991. 121 p. Santo Domingo, 1992. (F)
- 37 Interregional workshop on the role of women in environmentally sound and sustainable development, Volume I: Proceedings of the Workshop. Beijing, China, 9-15 September 1992. 428 p. Santo Domingo, 1993. (E)
- 38 Informe Seminario-Taller Nacional Participación de la Mujer Rural en el Desarrollo, Santiago, Dominican Republic. 8-9 December 1992. 53 p. Santo Domingo, 1993. (S)
- 39 Report of the meeting on Macro-Economic Policy Analysis of Women's Participation in the Informal Sector, Rome, 18-22 March 1991. 44 p. Santo Domingo, June 1993. (E)

INSTRAW/SER.B/#

- SB-2 National Machinery for the Advancement of Women 79 p. New York, 1980. (F)
- 3 Training for Women: An inventory of United Nations sponsored Activities 125 p. New York, 1980. (F)
- 7 Improving Statistics and Indicators on the Situation of Women. UNSO/INSTRAW 8 p. Santo Domingo, 1984. (E)
- 19 The Importance of Research and Training to the Integration of Women in Development. Prepared by Wafaa Marci at the request of INSTRAW. 32 p. Santo Domingo, 1985. (E) Research Study No. 2.
- 20 Las Mujeres y la Cooperación Internacional para el Desarrollo: Comercio e Inversión. Study prepared by the North-South Institute at the request of INSTRAW. 72 p. Santo Domingo, 1985. (S)
- 21 Towards Strategies for Strengthening the Position of Women in Food Production: An Overview and Proposals on Africa. Study prepared by Achola Pala Okeyo at the request of INSTRAW. 36 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- 22 Women in Economic Activity: A Global Statistical Survey (1950-2000) ILO/INSTRAW. 170 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- 27 El Impacto de la Política Económica y Financiera en la Mujer Latinoamericana. Study prepared by Rina Berio and Iván Molina at the request of INSTRAW. 32 p. Santo Domingo, 1986. (S)
- 28 Industrialization, Trade and Female Employment in Developing Countries: Experiences of the 1970's and After. Study prepared by Susan P. Joeckes at the request of INSTRAW. 65 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 29 Desarrollando Currícula Sobre Mujer y Desarrollo: Notas Sobre un Programa del INSTRAW, presentado en el Curso-Taller "Mujer, Desarrollo y Planificación en América Latina y El Caribe", 13 p. Santo Domingo, 1986. (S)
- 30 Women's Advances in the UN Decade: Looking Back with Hope. Paper prepared by Dr. Krishna Ahooja-Patel, presented at Seely Hall, Smith College, Northampton, Massachusetts, October 1986. 33 p. (E)
- 31 Women in the Informal Sector in Latin America: Methodological Aspects. ESA/STAT/AC.29/8, 73 p. Santo Domingo 1986. (E)
- 32 Compiling Social Indicators on the Situation of Women (Previously published by the United Nations as a Sales Publication). INSTRAW, 94 p. Santo Domingo, 1988. (E, S)
- 33 Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Women. (Previously published by the United Nations as a Sales Publication). 70 p. INSTRAW, Santo Domingo, 1988. (E, S)
- 34 Participation: Key to Human Resources Development with Women. INSTRAW, 21 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 36 Women, Development and Demographic Trends in Central America: A General Overview, prepared by Soledad Parada at the request of INSTRAW. 38 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 37 Contribution à l'étude du besoin actuel de renforcement des mécanismes nationaux visant à intégrer les femmes aux projets de développement. Study conducted by the Economic Commission for Africa (ECA) sponsored by INSTRAW. 62 p. Santo Domingo, 1989. (F)

- SB-38 **Methods of Measuring Disparity between Men and Women - A Technical Report**, by Pavle Sicerl. 180 pp. INSTRAW, Santo Domingo, 1989. (E)
- 39 **Women's Studies and Development: Bridging the Gap**. Edited by Krishna Ahooja-Patel, INSTRAW, 1100 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 40 **Modular Approach to Development of Managerial and Entrepreneurial Skill for Women Managers in Developing Countries** prepared by the United Nations Industrial Development Organization and INSTRAW. 205 p. Santo Domingo, 1991. (E)
- 41 **A Framework for Training Women Managers in Public Enterprises in Developing Countries** prepared by the International Center for Public Enterprises in Developing Countries (ICPE) and INSTRAW. 160 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 42 **Women's Access to Technology: Myths and Realities**. Research Paper Series. INSTRAW, 31 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 43 **Women and Credit**. Research Paper Series. INSTRAW, 181 p. Santo Domingo, 1990. (E)

INSTRAW/SER.C/ \_\_\_

- SC-1 **Annotated Bibliography of Papers Presented to the Interregional Seminar on The Incorporation of Women into Development Planning**. INSTRAW 28 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- SC-2 **Women and The International drinking Water Supply and Sanitation Decade: Annotated Bibliography**. INSTRAW 24 p. 1985. (E)
- SC-3 **Women and New and Renewable Sources of Energy (1980 - 1987) - Annotated Bibliography of Sources Dealing with Women and New and Renewable Sources of Energy: U.N. Sources and Non-U.N. Sources**. Santo Domingo, 1987.

INSTRAW/SER.D

- SD-1 **Interregional workshop on the role of women in environmentally sound and sustainable development, Volume II: Project Profiles**. Beijing, China, 9-15 September 1992. 319 p. Santo Domingo, 1993. (E)

PUBLIC INFORMATION:

- PI-01 Women and Water Supply and Sanitation 28 p. Santo Domingo, 1984. Information Booklet (E)
- 02 The Integration of Women into Development Planning 23 p. Santo Domingo, 1984. Information Booklet (E)
- 03 FACTS. Information booklet on INSTRAW. (E,F,S)
- 04 Statute of the International Research and Training Institute for the Advancement of Women (INSTRAW).
- 05 Programme Activities of INSTRAW 1984-85. (E)
- 06 Programme Activities of INSTRAW 1986-1987.
- 07 INSTRAW Links. Zero Issue. 24 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 08 Programme Activities of INSTRAW 1988-1989.(E,F)
- 09 Flyer According to Statistics She's Not Working. Santo Domingo, 1986. (E)
- 10 Flyer Decent Shelter is a Woman's Right Santo Domingo, 1986. (E,F,S)
- 11 Flyer Women and Water. Santo Domingo, 1987. (E,S)
- 12 Selected Guidelines and Checklists for Women in Development, Santo Domingo, 1987. (E, F, S)
- 13 Decent Shelter is a Woman's Right, Santo Domingo, 1987. (E, F, S)
- 14 Improved Stoves. Santo Domingo, 1988. (E, F, S)
- 15 Connecting Women to Water and Sanitation, Santo Domingo, 1987. (E)
- 16 INSTRAW Links, Santo Domingo, 1989. (E, S, F)
- 17 Classifying Women's Activities Three Case Studies: Kenya, Mexico, Nepal, Santo Domingo, 1989. (E, S, F)
- 18 Women, Water Supply & Sanitation-Making the Link Stronger. 16 p. INSTRAW, Santo Domingo, 1989.(E,F,S)
- 19 Brochure - "Women New and Renewable Sources of Energy". Santo Domingo, 1990.
- 20 Women's Access to Credit in the Dominican Republic: A Case Study, Santo Domingo, 1990. (E,F,S)
- 21 Catalogue of INSTRAW's publications. Santo Domingo, 1991.
- 22 Flyer INSTRAW en América Latina y el Caribe. Santo Domingo, 1991. (S, E)
- 24 Flyer Millions of Women Support their families with Informal Sector Work like this. Santo Domingo, 1991. (E,F,S)
- 25 Brochure "What is INSTRAW" (E, S)
- 26 Flyer INSTRAW's Contribution to Improving the Socio-Economic Status of Elderly Women. Santo Domingo, 1992 (E)
- 27 Flyer Women, Environment and Sustainable Development: Seeds for a Greener Future. Santo Domingo, 1992. (E)
- 28 Booklet Women, Environment and Sustainable Development, Santo Domingo, 1992. (E,S,F)



INSTRAW NEWS:

- IN-101 INSTRAW News Vol. 1 No. 1 March 1984 (E,S,F)  
IN-102 INSTRAW News Vol. 1 No. 2 July 1984 (E,S)
- IN-103 INSTRAW News Vol.I No.3, December 1984. An official emblem for INSTRAW (E,S)  
IN-104 INSTRAW News Vol.II No.1-2, June 1985. Nairobi Conference (E)  
IN-105 INSTRAW News Vol.II No.3, December 1985. United Nations 40th Anniversary (F,S)  
IN-106 INSTRAW News No. 6, Spring/Summer 1986. Special Focus on Africa (E,F)  
IN-107 INSTRAW News No. 7, December 1986. Training Women in a Changing World (E,S)  
IN-108 INSTRAW News No. 8, Spring/Summer 1987. Communications for Development (E,S)  
IN-109 INSTRAW News No. 9, Winter 1987. Women, the forgotten producers (S)  
IN-110 INSTRAW News No. 10, Summer 1988. New and Renewable Sources of Energy (E,F,S)  
IN-111 INSTRAW News No. 11, Winter 1988. Networking (E,F,S)  
IN-112 INSTRAW News No. 12, Summer 1989. Informal Sector (E,F)  
IN-113 INSTRAW News No. 13, Winter 1989. Women, Water Supply and Sanitation (F,S)  
IN-114 INSTRAW News No. 14, Spring 1990. INSTRAW 10 years after (E,F,S)  
IN-115 INSTRAW News No. 15, Winter 1990. Women and Credit (E,F,S)  
IN-116 INSTRAW News No. 16, Double Issue 1991. African Women: Coping with Economic Crises (E,S,F)  
IN-117 INSTRAW News No. 17, Spring 1992. Women and Management (E,S,F)  
IN-118 INSTRAW News No. 18, Autumn 1992. The United Nations and Women (E)

SALES PUBLICATIONS:

SP-102 Selected Indicators on the Situation of Women, 1985 (poster).  
Department of International Economic and Social Affairs, Statistical  
Office and Population Division, and INSTRAW. Sales No. E.85.XIII.6A.

-103 Proceedings of the Interregional Seminar on The Incorporation of  
Women into Development Planning held in Santo Domingo, 5-11 December  
1983. 346 p. (E) Sales No. E.87.III.C.1

-104 Proceedings of the Interregional Seminar on Women and the  
International Drinking Water Supply and Sanitation Decade held in  
Cairo, 12-16 March 1984. 306 p. (E) Sales No. E.87.III.C.2

NOTE: Inquiries on Sales Publications should be addressed to: United  
Nations, Sales Section, New York or Geneva.

-105 Women in the World Economy Prepared by Susan P. Joekes at the  
request of INSTRAW. Oxford University Press.

NOTE: Inquiries on Women in the World Economy should be addressed  
to:

English Oxford University Press  
200 Madison Avenue  
New York, N.Y. 10016

Spanish Siglo XXI Editores, Sa de Cv  
Cerro del Agua 248, Delegación Coyoacán, 04310  
México, D.F.

Japanese Tokyo Shoseki Co. Ltd., Publishers  
6-14-9, Honkomagome, Bunkyo-ku  
Tokyo 113, Japan

-106 Poster by Dominican painter Rafael Amable.

-107 Poster by Dominican painter Cándido Bidó.

-108 Poster by Dominican painter Jorge Severino.

-109 Poster by Bulgarian painter Dechko Uzunov.

-111 Poster by Saudi Arabian painter Mounirah Mosly.

NOTE: Inquiries on Posters should be addressed to:  
INSTRAW, P.O. Box 21747, Santo Domingo, Dominican Republic

-110 Improving Statistics and Indicators on Women using Household  
Surveys. 148 p. New York, 1988. (A, E, F, S, R) Sales No.  
E.88.XVII.11

-112 Methods of Measuring Women's Participation and Production in the Informal Sector 216 p. New York, 1990. (E,S) Sales No.  
E.90.XVII.16

A-Arabic, E-English, F-French, J-Japanese, R-Russian, S-Spanish

[その他 *Catalogue of INSTRAW Publication*(1991) に掲載されている出版物。区分は *Catalogue*による]

**Research**

<Study>

**Women in the Informal Sector of the Economy: A Bibliographical Compilation**  
by Soledad Parada, Santiago, Chile/Santo Domingo, INSTRAW p.67, Mimeographed, 1987 (E, S)

**Impact of Monetary and Financial Policies Upon Women.** by Sushila Gidwani at the request of INSTRAW, Santo Domingo: INSTRAW, 44 p. May 1985 (E, F, S)

**Summary of INSTRAW Series of Studies on the Role of Women in International Economic Relation.** ( Summary No.1 ), 80 p., 1985 (E)

**Women and International Development Cooperation: Trade and Investment.** Study prepared by the North-South Institute at the request of INSTRAW. Santo Domingo: INSTRAW 52 p., May 1985 ( E, F, S )

**Technology and Women's Status-** Report for the 1985 World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women: Equity, Development and Peace, Nairobi, Kenya. Geneva, INSTRAW/UNCTAD, 18 p., 1985 ( E )

**Women and Technology in Developing Countries: Technological Change and Women's Capabilities and Bargaining Positions.** by Deborah Bryceson, Santo Domingo, INSTRAW ( Research Study No.1-C: Series of Studies on the Role of Women in International Economic Relations), 44 p., 1985 ( E )

**Women, Technology and Sexual Devision.** by Amartya K. Sen, (INSTRAW/BT/1985/CRP.4), 55 p., 1985

**Las Mujeres de Edad Madura en America Latina ( Midlife and Older Women in Latin America ).** by Soledad Parada, Santo Domingo, INSTRAW. Mimeographed., 17 p., 1988 (S)

**International Development Strategies and Women's Issues(1980-1986).** by Samia Qadir, Santo Domingo, INSTRAW, Mimeographed., 94 p., 1987 ( E )

**Integration of Women in Development Through Technical Co-operation Among Developing Countries(TCDC).** United Nations, New York, INSTRAW, 32 p., 1983 ( E )

<Papers>

**Economic and Social Status of Women in Asia Today.** by Krishna Ahooja-Patel, presented to the 8th International Symposium on Asian Studies, Hong Kong, 11-14 August 1986 ( INSTRAW Publication 1986) ( Working paper No.101), 33 p., ( E )

**The Economic Contribution of Women to Food Supply in Developing Countries.** Santo Domingo, INSTRAW. (Working Paper No.100) 20 p., 1985 ( E )

**Las Naciones Unidas y la Promocion de la Mujer (1945 -1985).** basic information for the seminar Mujer, Planficacion y Desarrollo en el Area Andia, Quito, Ecuador, 16-27 November 1987, (INSTRAW publication, 1987), 19 p. ( S )

<Surveys>

**Research on Women: An Inventory of United Nations Sponsored Activities.** New York United Nations/INSTRAW, 125 p., 1980 ( E. F. S )

## Expert Group Meetings

**Report of the Consultative Meeting on Evaluation Methodologies for Programmes and Projects on Women and Development.** New York, 8-10 November 1989 (INSTRAW Publication 1989) (INSTRAW/BT/1990/CRP,1) 20 p. ( E, F, S )

**Report of the International Consultative Meeting on Communications for Women in Development.** Rome, 24-28 October 1988, (INSTRAW publication, 1988), (INSTRAW/BT/1989/R.3) 45 p. ( E )

**Report of the Interregional Consultative Meeting on Women in Co-operatives: Implications for Development.** Plovdiv, Bulgaria, 20-24 June 1988 (INSTRAW publication: 1988), 70 p. ( E )

**Proceedings of the Interregional Seminar on Women and the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade (IDWSSD).** Cairo, Egypt, 12-16 March 1984, (INSTRAW publication, 1986; Sales No. E.87.III.C.2), 306 p. ( E )

**Proceedings of the International Seminar on the Incorporation of Women into Development Planning.** Santo Domingo, 5-11 December 1983 (INSTRAW publication 1986, sales No. E.87.III.C.1) 346 p. ( E )

**Report of the Seminar on the Incorporation of Women into Development Planning.** Santo Domingo, 5-11 December 1983 (INSTRAW publication, 1983) (INSTRAW/BT/1984/5) 22 p. ( E )

**Report of the Expert Group on Improving Statistics and Indicators on the Situation of Women.** New York, 11-15 April 1983. United Nations Statistical Office, New York and INSTRAW, 1983 27 p. ( E ), ( ESA/STAT/AC.17/9. INSTRAW/AC.1/9 )

## Training

<< Reports & Proceedings >>

**Report on the National Workshop on Visibility of Women in Statistics and Indicators: Changing Perspectives.** Bombay, India, 3-7 July 1989, organized by the SDNT Women's University, in collaboration with the Department of Women and Child Development, Government of India and INSTRAW. ( INSTRAW publication ), 1992 ? ( E )

**Report on the National Workshop for Users and Producers of Data and Indicators on Economic Activity of Women in the Formal and Informal Sectors.** Jakarta, Indonesia, 5-9 October 1987, organized by the Office of the Minister of State for the Role of Women, the Central Bureau of Statistics and INSTRAW, (INSTRAW Publication). 1992? ( E )

**A National Training Seminar Women, New and Renewable Sources of Energy.** Cairo, Egypt, 24-28 June, 1990 ( INSTRAW publication, 1990), 40 p. ( E )

<< Modular Packages >>

**INSTRAW-Foundation de L'EAU - multimedia training packages on " Women, Water Supply and Sanitation".** Lomoges, France, INSTRAW-Foundation de l'eau, 1989 (80 large-sized posters). 56p. ( E, F )

**INSTRAW/ILO/Turin Centre Multi-Media Training Packages on " Women, Water Supply and Sanitation".** INSTRAW/ILO/Turin Centre, 1986 (4 sound-slide packages, 120 transparencies 2 videos ). 800 p. ( E )

**INSTRAW/ILO/Turin Centre Multi-Media Training Packages on " Women, New and Renewable Sources of Energy".** ( 2 sound-slide packages, 80 transparencies). INSTRAW/ILO/Turin Centre, 1988. 600 p. ( E )

<<Manuals>>

**Improved Stoves: An Integral Part of Energy-Saving Strategies.** INSTRAW, 1989, 176 p. (E)

**Women and New and Renewable Sources of Energy.** INSTRAW-ILO/Turin Centre.1989.(Pilot Test Edition). 223 p. ( E )

**INSTRAW Training Manual on Women in Development.** Santo Domingo.1988 ( E )

#### **Public Information**

##### << Booklets >>

**Statistics and Indicators and Women: INSTRAW's Activities.** Santo Domingo, INSTRAW 20 p, 1986 ( E )

**Women and Energy in the Implementation of the Nairobi Programme of Action.** Santo Domingo, ( Background Paper No.12 ), 16 p. 1984 ( E )

**INSTRAW Training Activities - Policy Outline.** Santo Domingo, INSTRAW (Policy Paper No.1), 20 p. 1985 ( E )

**Women: A Dynamic Dimension in Development.** Santo Domingo, INSTRAW, (Policy Paper No.2) 20 P. 1985 ( E )

##### << Portable Exhibits >>

**INSTRAW Portable Exhibits.** Santo Domingo: INSTRAW 1990

##### << Audio-Vidual Materials >>

**Women: A Dynamic Dimension in Development.** INSTRAW 1985 12minutes 16mm film ( E, S )

**INSTRAW: Purposes and Policies.** INSTRAW 3 minutes 16mm film 1987 ( E )

**UN in Action .** DPI/INSTRAW 4.30 minutes VHS tape 1988 ( E, S )

**Fund-Raisiing for INSTRAW.** by Tony Hoeller, 28 minutes 1986 ( E )

#### **Publications Resulting from activities Co-sponsored by INSTRAW**

**Making Women Matter.** The Role of the United Nations. by Hilka Pietila and Jeanne Vickers, Lndon ,Zed Books Ltd.1990, 177p, ( E )

**Teaching Women in Development Cources.** by Kathleen Staudt,Irene Tinker and Kathleen Cloud, 1990, 99 p, ( E )

**"Women and Development: New Challenges Towards Twenty-First Century"** by Dunja Patizzi-Ferencic in *International Development and Alternative Futures: The Coming Challenges* New Delhi: Allied Publishers Limited,1990. pp.263-281 ( E )

**The Informal Sector: Development of Statistics and Indicators. Annex to Women in the Informal Sector.** in *1989 World Survey on the Role of Women in Development.* New York,United Nations, 1989. 11 p. ST/CSDHA/6 ( E )

**Problems of Data Collection and Research on Mid-Life and Older Women.**by Dunja Pastizzi-Ferencic in *Mid-life and Older Women in Latin America and the Caribbean* Washington, D.C. :Pan American Health Organization & American Association of Retired Person, pp.305-315, 1989, ( E )

**Report of Effective Business Management for Export Marketing.** Tampere, Filand,4-21 September 1989,organized by Programme for Development Co-operation(PDODC) in co-operation with international Trade Centre(ITC-UNCTAD/GATT) with the support of INSTRAW and International Women's Management Institute(WOMAN),financed by the Government of Finland. Copyright PRODEC,Helsinki,1989, 64 p.Mimeographed ( E )

**" Women's Work in the Informal Sectors of the Economy-An Untapped Resource for Development"** by Dunja Pastizzi-Ferencic in Development and South-South Cooperation ( Centre for International Co-operation and Development, Yugoslavia) Vol.V.,No.8, June 1989, pp.135-145 ( E )

**Women and South-South Co-operation:Bridge to the Mainstream. A Research Programme Proposal.** Ljubljana,Harare,Santo Domingo, INSTRAW/RCCDC/ZIDS, 37p. 1988 (E)  
INSTRAW/SER. A/35

**" Women in the International Economy: Existing Reserach and Future Priotities".**by Dunja Pastizzi-Ferencic,presented to Women and Socio-Economic Development,XIIth International Seminar organized by the Conference for the Social Activities of Yugoslav Women, Belgrade,21-23 April,1987 11 p. ( E )

**" The Concept of Self-Reliance and the Integration of Women in Development"** in World Survey on the Role of Women in Development. United Nations,New York 1986 (ST/ESA/180)

**Producer/User Seminar on Household Statistics and Indicators for Women.** Lagos,Nigeria, 11-13 August,1986, organized by the Federal Office of Statistics and the United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women. Lagos, Federal Office of Statistics/INSTRAW,1986 76 p. ( E )

**Report of the Regional Training Session on Development and Use of WID Guideline and Checklists at National Level.** convened by the Centre on Integrated Rural Development for Asia and the Pacific(CIRDAP) and co-sponsored by FAO/INSTRAW, in Dhaka,Bangladesh CIRDAP.145 p.1978 ( E )

**Review of Occupation and Industry Classification Experience in Three Countries and Comments on the 1987 Proposed Revision on the International Standard Classification of Occupations(ISCO) from the Perspective of Women's Concerns.**presented at the Fourteenth International Conference of Labour Statisticians,Geneva,Switzerland,28 October-6 November 1986(INSTRAW Publication,1987),20 p. ( E )

**Women and the International Drinking Water Supply and Sanitation Dcade.** INSTRAW/ UNICEFF paper submitted to the World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women,prepared in accodance with the decision of the Inter-Agency Task Force on Women and the IDWSSD.(INSTRAW publication,1985), 59 p. (Water Report No.1) ( E )

統計研究参考資料 No. 40  
インストローと女性に関する統計

1993年 9月

発行所 法政大学日本統計研究所  
194-02 東京都町田市相原町 4342  
Tel. 0427-83-2326, 2327  
Fax. 0427-83-2332  
発行人 伊藤 陽一

**INSTRAW, Articles about Statistics on Women from  
INSTRAW NEWS and List of INSTRAW Publications**  
written and translated by Kyoko Nakano  
edited by Yoichi Ito

Japan Statistics Research Institute, Hosei Univ.  
4342 Aihara, Machida, Tokyo 194-02 JAPAN